

マニフェスト工程表

H23²⁴ 25 26



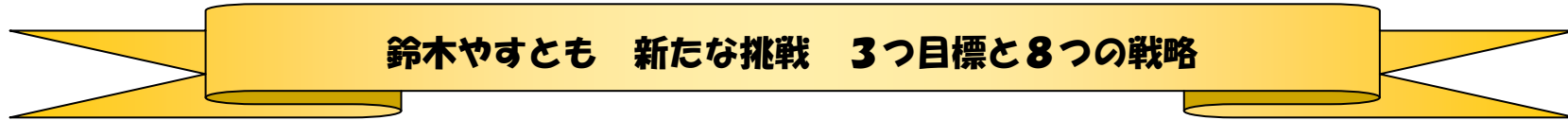
まや あす!

市民との約束



私が掲げた「やりますリスト」に基づき、平成 27 年 4 月までの任期中（4 年間）の『新マニフェスト工程表』を作成いたしました。

平成 19 年 4 月に市長に就任して以来、市民の皆様との約束であるマニフェストの実現を「新しい浜松をつくる3つの基本姿勢と7つの挑戦」として実施してまいりました。二期目を迎え、新たに3つの目標を掲げ、『8つの戦略』として取り組んでまいります。



| |
|--------------------------|
| 3つの目標 |
| やります！ 人財（ひと）づくり |
| やります！ 産業（もの）づくり |
| やります！ 文化（こと）づくり |
| 8つの戦略 |
| 地元産業の活性化を進めます |
| こども第一主義を進めます |
| 安全と安心を人から人へつなげます |
| 地球にやさしい持続可能な社会を実現します |
| 住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めます |
| いきがいが実感できる健康づくりを進めます |
| 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります |
| 行革を進め、自立した市政運営を行います |

マニフェスト一覧

《 3つの目標 》

やります！人財(ひと)づくり

産業文化の活性化を始め、ユニバーサル社会、多文化共生社会の実現、中山間地域の振興など、豊かな地域社会の形成に向けて、創造性あふれる市民が主体的に行動し、持続的に活躍できる環境整備を行い、浜松の未来の担い手となる人材の育成や地域資源の活用を積極的に推進します。

やります！産業(もの)づくり

ものづくり産業が未来を拓く創造的な活動と技術革新に果敢に挑戦し、新たな技術や人材、産業が創出されるよう支援します。また、農林水産業の分野においても、経営力向上を力強く推進し、本市の産地力を強化します。

やります！文化(こと)づくり

音楽、美術、文芸、伝統芸能などの多様な文化芸術を基盤に、創造性豊かな人材が交流し、新たな発想が生まれ育つ環境をつくり、市民が主体となって文化を創造し発展させる都市を目指します。

《 8つの戦略 》

1. 地元産業の活性化を進めます

将来にわたって地域産業の持続的な発展を確保するため、輸送用機器をはじめとする既存産業の強化を図るとともに、未来を担う新しい産業を創出していきます。

| | |
|---|--|
| ○新産業の創造、育成 | |
| 本市経済を支えるものづくり産業を含め、多様な産業の発展を目指し、産学官の強固なネットワークにより、新産業を創造します。 | |
| 1 | 中小企業の新技术・新製品の開発などイノベーションを促進するため、事業化助成等による支援を積極的に進め、企業の競争力を強化します。 |
| 2 | 次世代自動車や光エネルギー、健康医療、新農業など、今後成長が見込まれる分野において、大学や産業支援機関等による産学官連携体制を強化し、地域一丸となって技術開発支援やマッチング、販路開拓支援等に取り組み、新事業や新産業を創出していきます。 |
| ○総合的な産業支援体制の充実 | |
| 地域企業が求める経営支援、創業支援、人材育成を含む総合的な産業支援を充実します。 | |
| 3 | ものづくり産業を重点的に支援する「はままつ産業創造センター」と技術の高度化支援を行う「浜松地域テクノポリス推進機構」とを一体化し、総合的な産業支援機関として、機能の充実を図ります。 |
| 4 | 市制100周年を契機に、国際見本市へも対応できる県下最大級の新産業展示館の建設準備に着手し、地域企業の販路拡大を支援します。 |
| ○トップセールスによる企業誘致の推進 | |
| 将来にわたり活力に満ちたものづくり産業の集積を目指し、戦略的に企業誘致を推進します。 | |
| 5 | 市長自らの積極的な企業訪問などを通して、本市が有する光・電子技術をはじめとしたものづくり基盤技術などの産業ポテンシャルを国内外に発信し、企業誘致を進めます。 |
| 6 | 中小企業の進出や事業転換を促すため、設備投資などへの助成制度を拡充し、きめ細かな支援を行うとともに大規模企業立地の促進については、情報提供に対する成約報奨制度を導入するなど、戦略的な企業誘致を展開します。 |
| ○次代につなぐ農林水産業への支援 | |
| 全国屈指の高い生産高があり、ブランド力のある本市の農林水産業の産地力を強化します。 | |
| 7 | 新たな加工品の開発、地産地消の充実、海外を視野に入れた販路拡大の推進など、生産・加工・販売を一体的に進める農林水産業の6次産業化を進めます。 |
| 8 | 力強い農業ビジネスを確立するため、経営感覚に優れた先進的農業者を育成します。また、企業の農業分野への新規参入を促進します。 |
| 9 | 林業再生に向けて、育てる林業から売る林業への転換を推進し、低コスト作業システムの確立、担い手となる林業事業体の育成、効率的な加工・流通体制の整備を進め、持続可能な林業経営を実現します。 |
| 10 | 天竜材の需要を拡大するため、FSC森林認証制度を活用したブランド化や、天竜材の家百年住居(すまい)る助成事業、公共建築物等への木材利用などを推進します。 |
| 11 | 水産業の振興のために、トラフグやアサリなど魚種の豊富な水産資源を保護・育成し、舞阪・村櫛漁港の荷捌き所などの施設整備を進めます。 |

2. こども第一主義を進めます

子どもを安心して生み育てることができるよう、子育て環境の充実・整備を行うとともに、市民同士、地域ぐるみの子育て支援を充実します。また、子どもが夢や希望に向かって自分の力を十分に発揮できるよう、確かな基礎学力の定着に取り組みます。

○待機児童ゼロ作戦

ますます増加する保育所や放課後児童会への入所希望に応えるため、施設整備を推進し、待機児童ゼロを目指します。また、地域子育て支援拠点の再編を行い、乳幼児から思春期まで切れ目のない子育て支援体制を充実します。

| | |
|----|---|
| 12 | 保育所は、民間保育園の増改築により毎年度2施設50人以上の定員増を実現します。 |
| 13 | 認証保育所は、利用促進を図るため、一律に月2万円の助成制度を創設します。 |
| 14 | 放課後児童会は、平成26年度までに11施設増設し、400人程度の定員増を行います。また、運営にあたっては、保護者の参加など地域一体により進めます。 |
| 15 | 地域子育て支援センター及び子育て広場は、親子ひろば及び子育て支援広場に再編(84か所→90か所)し、開催日数・時間を拡大するとともに世代間交流事業や障害児の受け入れなどを加え、事業内容を充実します。 |

○子どもの活動の場の確保

心を育てる場として図書館を整備し、子どもの読書環境を充実します。また、動物園において、生命の大切さや尊さを伝える「生命(いのち)の教育事業」に積極的に取り組みます。

| | |
|----|---|
| 16 | すべての図書館にある児童図書コーナーを「こども図書館」として充実します。 |
| 17 | 動物園へ設置予定の愛護センターとともにいのちの大切さを学ぶ「いのちの教室」を開設します。 |
| 18 | ”地域の子どもは地域で育てる”を合言葉に、すべての小学生を対象として自治会集会所等を活用した市民協働による「放課後の子どもたちの居場所」づくりを進めます。 |

○発達障がいのある子どもの支援体制の強化

発達障がいのある子どもの乳幼児期から、就学、成人期に至るまでの各ライフステージに対応する一貫した支援体制を整備します。

| | |
|----|---|
| 19 | 発達障害の早期発見、早期療育のため、診療機関を開設するとともに発達相談支援センター(ルピロ)の相談支援機能を拡充し、幼稚園・保育園での障害児の受け入れを支援します。 |
| 20 | 児童デイサービス(I型)を4か所増設(3か所→7か所)し、療育の場を拡充するとともに、発達障害児が幼稚園・保育園へ円滑に移行できるよう発達支援広場を3か所増設(7か所→10か所)します。 |
| 21 | 本庁に指導主事・保育士など専門職員を配置し、相談支援体制を充実するとともに、区役所などにワンストップで対応できる相談窓口を整備します。 |
| 22 | 市立幼稚園で、通常学級に在籍する障がいのある園児を取り出して個々に応じた発達の支援をします。 |
| 23 | 幼稚園・保育園と療育機関を併行通園している障がいのある園児の療育効果を上げるため、療育機関の専門職員が幼稚園等を訪問して、障害児保育を支援します。 |

○30人学級の実現

子どもたちが夢や希望に向かって自分の力を充分発揮できるよう、きめ細かな指導・教育体制づくりを進め、確かな基礎学力の定着に取り組みます。

24 小学一年・二年の30人学級編制を実施します。

○子どもの能力を伸ばす小中一貫教育の推進

子どもの育ちと学びをつなぐため、小中一貫教育を推進します。また、浜松市からノーベル賞を受賞できるよう、才能豊かな子どもを育てます。

25 個々の子どもの成長に視点をあて、発達段階に応じた指導を積み重ねていくため、市内48中学校区で小中一貫教育を推進します。

26 子どもの知的探究心を育むため、受講を希望する小中学生の中から選抜により、理数、外国語、音楽、美術などの課外特別講座を創設します。

27 理科教育では、従来の理科支援員に加えて、企業や大学等の協力を得て理科特別講師による指導を実施するとともに、市独自の理科カリキュラムによる指導を行い、児童生徒の理科に対する興味関心を引き出し、理系学力のレベルアップを実現します。

○外国人の子どもの不就学ゼロ作戦

外国人学校やボランティアの皆さんと協同して、外国人児童生徒の不就学を解消します。

28 平成23年度に外国人児童生徒の不就学の実態調査を実施し、不就学の原因・理由を分析します。その結果に基づき、専門家によるカウンセリングや入学準備支援制度など、外国人児童生徒ひとり一人のケースに応じた就学支援制度を設け、3年間を目途に不就学を解消します。

○子どもと高齢者のふれあいの場

子どもはお年よりを敬うやさしい心を育み、お年よりはいきいきと元気になれるよう、子どもと高齢者がふれあい交流する環境を整備します。

29 同一敷地内に特別養護老人ホームなどの高齢者介護施設と保育園の併設を促進します。

3. 安全と安心を人から人へつなげます

市民一人ひとりが、福祉、防災・減災、防犯、交通安全等に対する意識を高め、主体的に行動する活発な市民活動を支援します。また、地域の結びつきを強め、共生・共助の精神を養い、安全と安心を人から人へとつなげる活発な地域力を創造します。

○地域力支援事業の充実

住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう、共生・共助の精神を養い、支援等を必要とする人たちを地域で支えることができる人材を育成し、福祉の地域力を向上します。

| | |
|----|--|
| 30 | 地域や行政によるひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の見守り・支援を積極的に展開していくため、地域包括支援センターや民生委員、事業者などによる地域支援ネットワークを構築します。 |
| 31 | 地域包括支援センターを5か所増設(17か所→22か所)し、高齢者のための相談支援体制等の拡充を図ります。 |
| 32 | 地域子育て支援センター及び子育て広場は、親子ひろば及び子育て支援広場に再編(84か所→90か所)し、開催日数・時間を拡大するとともに世代間交流事業や障害児の受け入れなどを加え事業内容を充実します。(再掲) |
| 33 | ”地域の子どもは地域で育てる”を合言葉に、すべての小学生を対象として自治会集会所等を活用した市民協働による「放課後の子どもたちの居場所」づくりを進めます。(再掲) |

○福祉入所施設の充実

入所が必要な高齢者や障害者の希望に応えるため施設福祉の充実をします。

| | |
|----|---|
| 34 | 特別養護老人ホームは、毎年度200人以上の定員を増やします。 |
| 35 | 老人保健施設は、毎年度100人以上の定員を増やします。 |
| 36 | 障害者のグループホーム、ケアホームは、平成26年度までに12施設新設し、80人以上の定員を増やします。 |

○地元で介護が受けられる地域密着型サービス施設の充実

高齢者が要介護状態となっても住みなれた地域で生活を継続できるよう、地域密着型サービス施設の整備を推進します。

| | |
|----|--|
| 37 | 小規模多機能型居宅介護施設を11か所増設します(22か所→33か所)。 |
| 38 | 認知症対応型共同生活介護施設(グループホーム)を10か所増設します(55か所→65か所)。 |
| 39 | 認知症対応型通所介護施設(認知症対応型デイサービス)を16か所増設します(37か所→53か所)。 |
| 40 | 特定施設入居者生活介護施設を5か所増設します(4か所→9か所)。 |
| 41 | 介護老人福祉施設入居者生活介護施設を8か所増設します(9か所→17か所)。 |

○市民協働の拠点施設の整備

市民協働団体の活動拠点を整備し、市民協働を活発にします。

| | |
|----|---------------------------------------|
| 42 | 地域自治センターや公民館などの公共施設に市民協働コーナーの設置を進めます。 |
| 43 | 生涯学習や市民協働の拠点である公民館を計画的に整備し、機能を充実します。 |

○自治会活動の充実

自治会が地域の核となり市民協働に取り組めるよう、自治会活動の活発化を支援します。

- | | |
|----|---|
| 44 | 自治会役員を対象とした地域力向上に関する相談やノウハウ習得のための研修会を実施します。 |
| 45 | 自治会にお願いしている市の委託事業の適正化に取り組み、自治会運営の負担軽減を図ります。 |

○防災・減災の地域力向上

市民が自ら災害に対する備えを実行できるようにするため、防災情報の発信力を高め、自主防災組織を強化します。

- | | |
|----|---|
| 46 | 防災冊子やホームページ、出前講座などにより防災情報を積極的に発信するとともに、自主防災隊を中心に自治会、民生委員、企業等との連携協働により、災害時要援護者への支援や災害発生時の共助など地域一体となった防災体制の構築を進めます。 |
| 47 | 災害発生時の迅速な情報収集・伝達を図るため、全市をカバーする防災行政無線の整備を進め、あわせて、市民一人ひとりへの緊急時の伝達手段である「浜松市防災ホットメール」への登録を推進します。 |
| 48 | 大規模災害が発生しても、市役所機能を停止することなく市民サービスを円滑に提供できるよう「浜松市業務継続計画」を策定し、有事に備えた体制を整備します。 |

○防犯の地域力向上

安全で安心な市民生活の確保のため、市民協働により犯罪がなく安全で安心して暮らすことのできる地域社会づくりを推進します。

- | | |
|----|---|
| 49 | 有楽街の治安維持に向け、地域住民による自主的な防犯活動の拠点となる「まちなか防犯センター」を設置します。 |
| 50 | 市民参加による自主的な防犯活動団体「地区安全会議」を全市内に設立するとともに青色パトロール活動の活発化に向けて支援します。 |

○交通安全対策の推進

子どもやお年寄りなどの交通弱者が安全で安心して通行できる歩行空間を確保し、交通事故多発箇所の交差点の整備を進めます。

- | | |
|----|--|
| 51 | 学校周辺の通学路や病院の周辺部への歩道設置等を進めます。 |
| 52 | 交通事故多発箇所の交差点について、信号未設置箇所の信号設置を警察に要望するとともに、市も独自に減速路面表示や交差点内のカラー舗装などの交通安全施設を整備します。 |
| 53 | 65才以上の市民で運転免許証を自主返納する方に住民基本台帳カードの無料交付などを実施します。 |

○消防施設の整備

災害等に対して迅速に対応できるよう、消防車両を整備するとともに消防署所を再編拡充するなど消防防災体制を強化します。

- | | |
|----|---|
| 54 | 消防車、救急車など必要な機械・装備の更新を行います。 |
| 55 | 大平台に入野地区を管轄する中規模消防出張所(救急隊新配置を含む)を新築します。 |

4. 地球にやさしい持続可能な社会を実現します

市民・事業者・行政などの参加と協働のもと、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取り組みを総合的に進めていくことにより、地球環境に負荷をかけない持続可能な社会を実現します。

○公共施設や住宅等における省エネルギー対策の推進

公共施設における省エネ改修に取り組み、率先して温室効果ガスの排出抑制を進めるとともに、市民や事業者の省エネルギー対策を促進します。

- | | |
|----|---|
| 56 | 公共施設については、LED照明の導入などの省エネ改修に取り組みとともに敷地面積の20%以上の緑化を目指します。 |
| 57 | 民間施設については、低炭素型住宅(エコハウス)や緑のカーテンの普及、中小企業の省エネ改修に対する助成を実施するなど省エネ・グリーン化を推進します。 |

○新エネルギーの導入促進

本市の地域特性である長い日照時間や広大な森林から発生する間伐材などを活かし、新産業の創出に結びつく新エネルギーを導入します。

- | | |
|----|---|
| 58 | 個人住宅への新エネルギーシステム設置への助成を実施し、太陽光発電、太陽熱利用などの導入を促進します。 |
| 59 | 間伐材を活用した木質ペレットの加工施設を整備し、木質ペレットを燃料とするボイラーの普及を促進するなど、バイオマスを利用したエネルギーの活用を進めます。 |

○ごみ削減対策

市民・事業者・行政等の協働により、ごみ減量、再生利用を図り、持続性のある循環型の社会づくりを進めます。

- | | |
|----|---|
| 60 | 生ごみ堆肥化容器などの利用促進や、紙類の拠点回収の実施など徹底した発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)によってごみ減量対策を実践します。 |
| 61 | 市民1人1日当たりの排出量を平成21年度実績に対し10%削減を目指します。 |
| 62 | リサイクル拠点となる資源リサイクルセンターを平成27年度開設に向けて準備します。 |
| 63 | 資源の循環体制を確立するため、安全で安定的、かつ効率的なごみ処理体制の整備や、廃棄物の適正処理のための監視・指導を実施します。 |
| 64 | 平成25年度までに、指定ごみ袋の統一、ごみ分別の統一に取り組みます。 |

○生物多様性保全対策の推進

森林、河川、湖沼、田園、里山などの自然環境に配慮した利用を促進するとともに、貴重種をはじめとする動植物保護の取り組みを進めます。

- | | |
|----|---|
| 65 | 多様な自然環境を有する本市固有の特性を踏まえて、『浜海市生物多様性地域戦略』を策定し、生物多様性の保全対策を効果的かつ計画的に実施します。 |
|----|---|

○環境教育の推進

「環境共生都市・浜松」を実現するため、市民や市民活動団体、事業者への環境教育を通して「環境にやさしい暮らし・活動」に取り組む”実践する人づくり”を進めます。

- | | |
|----|---|
| 66 | 環境教育のあり方や各主体の役割、取り組みの方向性を定めた「環境教育基本方針」を策定し、環境教育の施策を総合的・体系的に推進します。 |
| 67 | 児童期からの意識づけが重要であることから、小中学校の全学年でごみ減量を中心とした環境教育を実施します。 |

○浜名湖や佐鳴湖の水質改善対策

「浜松市川や湖を守る条例」や「清流ルネッサンスⅡ行動計画」などに基づき、県との連携、市民や事業者等との協働により、浜名湖や佐鳴湖の水質浄化に積極的に取り組み、豊かな水辺の環境保全を推進します。

- | | |
|----|---|
| 68 | 浜名湖は、閉鎖性水域である猪鼻湖の水質浄化のため、下水道や合併処理浄化槽の普及を推進するとともに市民活動による猪鼻湖浄化プロジェクトへの支援を行い、CODなどの改善をします。 |
| 69 | 佐鳴湖は、CODの環境基準値5mg/lの達成に向けて、下水道普及や雨水浸透ますなどの設置など、市民と一体となった取り組みを進めます。 |

5. 住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めます

都心居住を快適にし、定住人口の増加を図るとともに、産業や文化、歴史などを生かした魅力的なまちなかを創出します。また、中山間地域における地域再生のソフト施策を充実し、地域住民が互いに助け合い、いきいきと生活できる暮らしを実現します。さらに、公共交通や通信機能などネットワーク機能を充実し、人やもの、情報の交流を促進します。

○JR浜松駅前広場を中心とした回遊空間の整備

JR北口・南口駅前広場の交通結接点機能の強化、駅周辺の歩行者の回遊性の向上に取り組み、魅力的な都心育成を図ります。

- | | |
|----|--|
| 70 | 南口駅前広場は、送迎車スペースの拡大、駅南駐車場の自走式化、出入口の改善、観光バスバースなどの改良を実施します。 |
| 71 | 北口駅前広場は、広場空間や歩行空間の連続性を確保するなどの改善を検討します。 |

○都心の都市機能の強化

都心地区建物の更新や耐震化などの再整備を進めるために、民間主体型の持続的なまちづくりを促進し、都市機能の再生・強化を図ります。

- | | |
|----|--|
| 72 | 都心の再整備の必要性のある地区や優先順位などを定め、老朽化建物、耐震性の劣る建物の大規模改修や建替えなどの再整備を促進します。また、地元住民や地権者などが主体的に地区更新の促進を図る「まちづくりルール」を作成し、地域自ら将来を見据えたまちづくりを展開できるよう支援します。 |
| 73 | 地権者や商業者等で構成する「浜松まちなかにぎわい協議会」とともに中心市街地の課題解決や活性化に取り組みます。 |

○「幸せを実感する山里暮らし」の実現

共生共助による豊かな地域社会を実現するため、区協議会の充実強化や区役所による地域コミュニティの育成・支援を通じて、市民自らが考え、行動し、地域の課題を解決する地域自治の拡充強化を目指します。

- | | |
|----|---|
| 74 | 中山間地域の地域づくりを支援するため、各地域に1億円規模の「地域まちづくり基金」を創設します。 |
|----|---|

○公共交通の確保

過度に自家用車に依存することなく、公共交通、徒歩や自転車により快適に移動できる交通ネットワークを実現します。

- | | |
|----|--|
| 75 | 鉄道駅や病院、商業施設にミニバスターミナルを設置し、交通結接点機能の強化を図ります。 |
| 76 | 高塚駅・天竜川駅の橋上駅舎や駅前広場の整備を進めるとともに西鹿島駅周辺整備構想を策定し、交通基盤施設の機能を充実します。 |
| 77 | 公共交通空白地域対策として、環状路線バスの設定や自主運行バス再編など、交通事業者と協調してバス路線の充実に努めます。 |

○公共事業の重点化

各地域の拠点間を結ぶ道路のネットワークを構築するため、骨格となる道路の整備を着実に進め、地域間の連携を強化します。また、都市計画道路など市街地における慢性的な渋滞の解消と交通の円滑化を図るとともに、地域において通勤・通学・通院など日常の暮らしを支える道路などの社会基盤の整備を推進します。

- | | |
|----|---|
| 78 | 三遠南信地域の広域連携、ひとつの浜松の醸成にとって不可欠である三遠南信自動車道の整備促進を国と連携しながら進めます。 |
| 79 | 主要国道や県道浜松環状線などの放射道路や環状道路の整備を進め、地域間交流や地域の活性化を促進します。 |
| 80 | 橋梁、道路、水道、下水道など社会基盤の構造物の特性、優先度に応じた点検・補修など長寿命化対策に取り組むとともに、耐震化工事など防災・減災対策を進め、安全・安心な暮らしを支えます。 |

○中山間地の生活交通の充実

中山間地の公共交通空白地域において、自家用自動車を利用できない市民の移動手段を充実します。

- | | |
|----|---|
| 81 | 現在、佐久間地域や春野地域で実施している利用者からの要求に応じて弾力的に運行するデマンドバスやNPOタクシーの他地域への拡大実施を支援し、過疎地などの公共交通空白地域の移動手段を充実します。 |
|----|---|

6. いきがいを実感できる健康づくりを進めます

だれもが、一生涯、安全・安心に、いきがいを持ち、いきいきとした生活を送るため、子どものうちから、年齢、体力、生活環境などに応じた健康づくりを、家庭、学校、地域などで連携して取り組んでいく環境を整備します。

○生きがいづくり

高齢者が地域の中で、健康でいきいきとした生活を送ることができるような環境づくりを目指します。

- | | |
|----|---|
| 82 | 老人クラブ等の活動支援のためのシルバーサポーター派遣事業や高齢者利用施設等のユニバーサルデザイン化への助成等、高齢者の生きがい対策事業を拡充します。 |
| 83 | シルバー人材センターと連携し、高齢者のライフスタイルにあわせた就業やボランティア活動など様々な社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活を実現します。 |

○子どもと高齢者のふれあいの場(再掲)

お年よりはいきいきと元気になり、子どもはお年よりを敬うやさしい心を育むよう、高齢者と子どもがふれあい交流する環境を整備します。

- | | |
|----|---|
| 84 | 同一敷地内に特別養護老人ホームなど的高齢者介護施設と保育園の併設を促進します。 |
|----|---|

○医療の充実

公立病院の役割を果たすため、病院の健全な経営に取り組み、安全安心な医療を地域に提供します。

- | | |
|----|---|
| 85 | 浜松医療センターは、将来にわたり公立病院の役割を果たせるよう、さらなる経営改革を進め、健全経営を定着化します。 |
| 86 | リハビリ病院は、今後の高齢化に伴うリハビリテーション医療の需要増などに応えるため、増床などの再整備を進めます。 |
| 87 | 救急救護体制の充実強化のため、救急救命士の資格者を増やします。 |

○体力・健康づくりの推進

子どもからお年寄りまで、市民すべてが気軽に運動に親しむ環境を整備し、市民の健康づくりを進めます。

- | | |
|----|--|
| 88 | 「1000万人ラジオ体操大会」の誘致を進めるとともに地域や学校、市民活動団体と連携しながらラジオ体操の普及に取り組みます。 |
| 89 | 市民が楽しく継続的に体を動かすことができる健康づくりや生活習慣病対策のプログラムを作成し、官民協同で事業を展開し、健康な市民を増やします。 |
| 90 | 栄養バランスのよい食生活をおくり、身体の成長や病気の予防など「生きる力」を育むために、家庭、学校、地域での乳幼児期からの食育の取り組みを推進します。 |
| 91 | 疾病の早期発見・早期治療のため、健康診断の受診率の向上に積極的に取り組みます。 |

○生涯スポーツの推進

生涯スポーツを推進するため、スポーツ施設の整備を進め、「するスポーツ」や「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の振興を図ります。

- | | |
|----|---|
| 92 | 県営の大型スポーツ施設の誘致を推進するとともに、既存施設の再整備を検討します。また、運動広場など身近なスポーツ施設の運営管理の充実を図り、効率的な施設利用環境を整えます。 |
|----|---|

7. 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります

風光明媚な浜名湖などの観光資源、全国ブランドとなっている各種産品、多彩な伝統文化などの有形無形の財産を生かし、本市の魅力を効果的に世界に発信することで、都市の元気の源となる交流人口を拡大します。また、国籍を問わず、すべての市民が、地域経済や地域コミュニティにおいて持てる力を十分に発揮できる多文化共生社会を実現します。

| | |
|--|---|
| ○多文化共生社会の推進 | |
| 日本人市民も外国人市民もお互いに認め合い、共にまちづくりを進める多文化共生社会を実現します。 | |
| 93 | 平成24年度を目途に市、国・県の関係団体、HICE、外国人コミュニティ、経済界、自治会などによる「多文化共生推進協議会」を設立し、様々な課題解決に取り組むなど、多文化共生社会の実現をみんなで目指します。 |
| 94 | 多文化共生センターの活動を活発化し、日本人市民と外国人市民の交流を促進します。 |
| ○地域資源を活用した観光交流の推進 | |
| 浜名湖を中心とした多彩な地域資源やものづくり資源を生かした魅力ある観光地づくりを推進します。 | |
| 95 | 産業観光や特産物、農業体験等のツーリズムを観光資源に結び付け、浜名湖観光圏を中心とした観光地のネットワーク化を図り、官民連携による事業を推進します。 |
| 96 | 外国人観光客の誘客のため、国際コンベンションの誘致やインバウンド事業を積極的に展開し、観光交流人口の拡大を図ります。 |
| ○フラワーパーク、フルーツパークの再生 | |
| フラワーパーク、フルーツパークの魅力を増進し、効率的な経営を実現するため、施設のあり方や管理経営手法の見直しをします。 | |
| 97 | フラワーパークについては、浜名湖観光圏の活性化に資するため、花壇やイルミネーションの魅力が高めるなど花を楽しむ観光施設として再構築を進め、平成26年度までに経営の健全化を目指します。 |
| 98 | フルーツパークについては、平成23年度に民間による新法人を設立し、食と農を学び楽しむ食育の拠点施設として再生事業に取り組み、独立した経営を目指します。 |
| ○ユニバーサルデザイン社会の実現 | |
| 「ユニバーサル環境都市・浜松」の実現に向けて、バリアフリー社会、共同参画社会、共生・共助社会、循環型社会、ユビキタス情報社会などの制度・仕組みづくりに取り組みます。 | |
| 99 | 市民生活にユニバーサルデザインの理念を浸透させ、定着・実践につながる施策を中心とする新ユニバーサルデザイン計画(H24～H33)を策定し、実行に移します。 |
| ○「音楽の都」の推進 | |
| 都市ブランドとしての音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、「音楽の都」に向けたまちづくりを進めます。 | |
| 100 | 「浜松国際ピアノコンクール」や「浜松吹奏楽大会」を実施するとともに、「ハママツジャズデイ」や「やらまいかミュージックフェスティバル」など市民主体による音楽イベントの実施を支援し、多彩な音楽文化を形成します。 |
| 101 | 「こどもミュージカル開催事業」や「こども音楽鑑賞教室開催事業」など子どもたちが文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努めます。 |
| 102 | 子どもたちが部活動で使用する吹奏楽楽器を充実し、音楽教育の環境整備を進めます。 |
| 103 | 都市ブランドとしての音楽文化の国内外への発信と交流を促進するため、「ユネスコ創造都市ネットワーク」に加盟し、魅力ある音楽文化を求めて人々が集まる「音楽の都」づくりを進めます。 |

| | |
|---|---|
| ○文化活動の拠点施設の整備 | |
| 視覚芸術を中心とした創造的文化芸術活動拠点施設の整備をします。 | |
| 104 | 鴨江別館をアーティストの活動拠点機能や人と情報の交流の場としてのアートセンター機能、市民ギャラリー機能を有する施設として改修整備します。 |
| ○民俗芸能など伝統文化の保存と継承 | |
| 「ひよんどり・おくない」や「西浦の田楽」、「川合花の舞」、「横尾歌舞伎」など各地域のもつ貴重な文化遺産を未来にわたり長く伝えていきます。 | |
| 105 | 市民協働で伝統文化の保護・保存活動に取り組み、先人の業績や歴史・文化を継承するとともにひとつの浜松を醸成します。 |
| ○浜松城公園の再生 | |
| 浜松城公園を本市の歴史・文化のシンボル拠点として、歴史ゾーンや文化施設などの整備を行い、都心部のセントラルパークにふさわしい公園へ再生します。 | |
| 106 | セントラルパークである浜松城公園の中に、かつて存在した「天守門」「富士見櫓」などを復原し、歴史の発掘を通じて市民が誇ることのできる新たな文化・観光資源の創出につなげます。 |
| 107 | 浜松城公園内に、創造的な新しいアート活動の拠点施設としての新美術館や多様な文化芸術活動を振興していくための文化センターの建設準備をします。 |

8. 行革を進め、自立した市政運営を行います

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」の実現に向けて、自助(市民の役割)、共助(地域の役割)、公助(行政の役割)が有機的に結びついた市民協働によるまちづくりを進めるとともに、限られた経営資源を有効活用し、自立した持続可能な財政運営を行い、市民の満足が得られるよう行政サービスを向上します。

○市民協働によるまちづくり

豊かで活力ある市民主体の地域社会の実現に向けて、市民協働を推進するための環境整備を図ります。

- | | |
|-----|---|
| 108 | 市民への積極的な情報提供や市政参画の機会の充実に努め、市民からの市民協働に関する働きかけに積極的に対応します。 |
| 109 | 市民協働センターや地域の市民協働スペースなど市民活動団体の活動拠点を整備し、機能充実に努めます。 |
| 110 | 市民、市民協働団体、事業者、行政などの多様な主体が交流、連携できる機会をつくり、対等なパートナーシップのもとで、地域社会の課題解決に取り組めます。 |

○自立した行財政運営

徹底した行財政改革により、市民から信頼される行政経営を実現するとともに健全財政を維持し、自立した基礎自治体を目指します。

- | | |
|-----|---|
| 111 | 行革審は、今後も行財政運営の第三者によるチェック機関として設置を継続し、さらなる行財政改革を進めます。 |
| 112 | 市の政策や事業について、市民目線で評価を実施し、事業の妥当性や実施主体についての検証を行い、行政サービスの質の向上を図ります。 |
| 113 | 健全な財政を維持して総市債残高を削減(平成26年度末市債残高5,000億円未満)します。 |
| 114 | 遊休資産を売却・交換・貸付し、市民の財産を有効活用するとともに、売却益を活用して借地の解消を進めます。 |
| 115 | 既存施設を再編・リニューアルし、施設運営コストや建設コストのムダを省きます。 |
| 116 | 増加傾向にある市税、国保料などの滞納額を削減するため、口座振替の促進、特別徴収事業所の拡大などの滞納防止策の強化や新規滞納への早期対応と差押など法的処分を中心とした滞納整理を徹底し、公平性の確保に努めます。 |
| 117 | 行政サービス水準の維持向上に十分配慮しながら、組織の見直しや事務事業の合理化、アウトソーシング等の活用などにより、300人を超える職員数を削減します。 |
| 118 | 時間外勤務の縮減は、事務事業の見直しや業務の繁忙にあわせた応援体制の活用などにより、平成22年度実績の2割減を目指します。 |

○戦略計画を核とした経営の仕組み(総合計画の推進)

総合計画の推進に向けて、戦略計画による政策の選択と集中を着実に進めます。

- | | |
|-----|--|
| 119 | 毎年度、戦略計画の策定と外部評価・内部評価の実施、また、スプリングレビューやサマーレビューによって、P(計画)D(実行)C(評価)A(見直し)サイクルを確立します。 |
| 120 | これらの政策形成過程を公表することで、市民の皆様の市政への参画を推進します。 |

○機能的な本庁、身近な区役所

行政運営の効率化と市民サービスの維持向上を実現するため、行政区の再編や市役所運営体制の最適化を目指します。

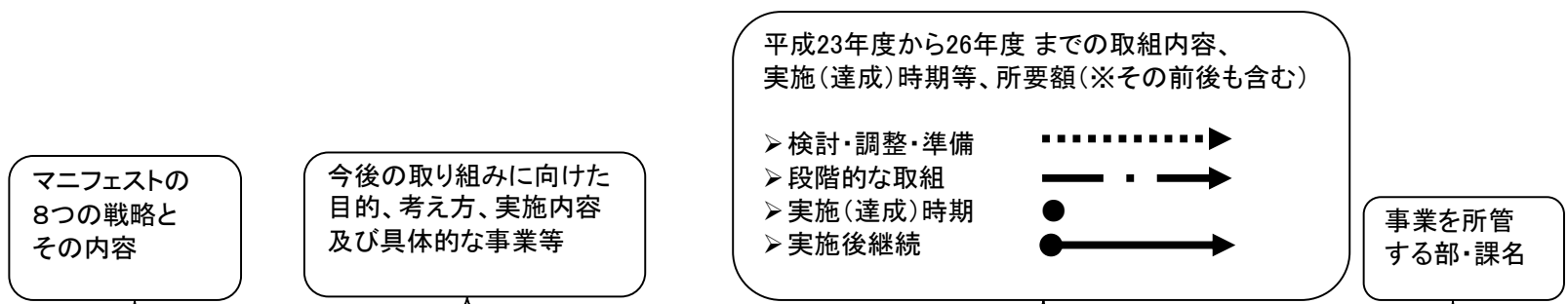
- | | |
|-----|---|
| 121 | 区の再編に向けて十分な検討を行い、その過程を市民の皆様へわかりやすく情報公開し、住民投票条例の制定を目指します。 |
| 122 | 市民にわかりやすく、利用しやすい、簡素で機能的な市役所の組織体制を構築します。 |
| 123 | 縦割り行政を解消し、総合的な政策運営ができるよう部の数を1/4以上減らします。 |
| 124 | 市役所の情報システムは、既存システムの安定的な運用に努めるとともに、情報システム全体の将来像を明らかにするほか、国等が進める電子自治体の取り組みやICTの利活用についての研究を進めます。 |

○広域連携

東三河、遠州、南信州地域の県境を越えた地域連携を通じて、広域連携による圏域の発展を目指します。

- | | |
|-----|--|
| 125 | 三遠南信地域基本計画などに基づき、「輸送用機器次世代技術産業」「健康・医療産業」「新農業」「光エネルギー産業」の4つの分野を中心に新産業の創出を図り、10年後の基幹産業化を目指します。 |
| 126 | 三遠南信地域で災害時における相互応援や浜松市消防ヘリコプターの遠距離救急搬送時の広域運用など、防災・医療連携を進めます。 |
| 127 | 西遠地域8市1町の首長会談を主催し、広域連携で地域の課題解決に取り組みます。 |

《表の見方（例）》



| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|---------------|-----|----|----|------|---------------------------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|----|-----|-----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額（見込み） 単位：百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 地元産業の活性化を進めます | (1) | | | | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○○部 | ○○課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | (2) | | | | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○○部 | ○○課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | △△部 | △△課 |



マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|-------|--------------------------------------|---|--|---|--|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|-----|-------|-------|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | (1) | 中小企業のイノベーションの促進 | 中小企業の競争力の強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 光電子技術を対象に新事業、新製品の開発を支援する事業化開発費補助金について、新たなリーディング産業の創出が期待できる次世代輸送用機器や健康医療、環境エネルギー等の成長分野を対象を拡大する。 | <ul style="list-style-type: none"> 光電子技術に対する研究開発費の助成 | <ul style="list-style-type: none"> 成長分野に対する研究開発費の助成拡充 | <ul style="list-style-type: none"> 成長分野に対する研究開発費の助成 | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | | |
| | | | | | 金額 | 161 | | | | 161 | | | | 161 | | | | 161 | | | | | |
| 2 | (2) | 産学官の連携強化による新事業や新産業の創出 | 地域の産学官が丸となって、輸送用機器に次ぐ新たなリーディング産業の創出を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 光・電子技術をコアとして、次世代輸送用機器、健康医療、新農業の新産業4分野の基幹産業化を図るため、浜松・東三河地域の産学官による「地域イノベーション戦略推進協議会」を設置し、技術開発支援や人材育成に取り組む。 新興国市場など海外への販路開拓等を支援する助成制度を平成23年度に創設し、実施・拡充を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 「地域イノベーション戦略推進協議会」の設置・運営 海外販路開拓補助金の創設・実施 | <ul style="list-style-type: none"> 「地域イノベーション戦略推進協議会」の機能強化、事業拡充 海外販路開拓補助金の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 「地域イノベーション戦略推進協議会」事業の推進 海外販路開拓補助金の拡充・実施 | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | | |
| | | | | | 金額 | 35 | | | | 35 | | | | 35 | | | | 35 | | | | | |
| 3 | (3) | 「はままつ産業創造センター」と「浜松地域テクノポリス推進機構」との一体化 | 地域の総合的な産業支援機関を創設し、産業支援の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 「財団法人浜松地域テクノポリス推進機構」の公益財団法人化に合せて、同財団と「はままつ産業創造センター」を一体化するとともに、地域の中核的かつ総合的な産業支援機関としての機能の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 両組織の一体化に向けた組織、機能、事業等の検討 | <ul style="list-style-type: none"> 両組織の一体化(新財団の設立) 総合的産業支援機関として産業振興事業の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 総合的産業支援機関として産業振興事業の実施 | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | | |
| | | | | | 金額 | 204 | | | | 204 | | | | 204 | | | | 204 | | | | | |
| 4 | (4) | 新産業展示館の建設準備 | 国際見本市等の大型展示会が開催可能な新たな施設の整備を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 「新産業展示館」の建設に向け、機能、規模、構造、仕様等の整備レベルや事業手法等を検討し、「基本構想」等を策定する。 | <ul style="list-style-type: none"> 基本構想の策定 | <ul style="list-style-type: none"> 基本計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> 地質調査、基本設計 | <ul style="list-style-type: none"> 実施設計 | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | |
| | | | | | 金額 | 5 | | | | 10 | | | | 10 | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|-------|-----|-----------------------------|---|---|---------------------------|-------|-------|-------|-------|---|----------------------------------|--|------------------------------|--|--|--|------|--|--|-----|-------------------|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | (5) | トップセールスによる企業誘致 | 市長自らが産業がデンシヤルを国内外に発信することで、新たな産業の創出・集積を目指す。 | ・輸送用機器関連産業や光・電子技術関連産業の集積がある本市の強みを積極的に発信し、市長自らも企業訪問を行うなどして、都田地区工場用地に成長分野の拠点工場誘致を目指す。なお、企業を誘致する新しい土地の開発についても進めていく。 | 工程表 | | | | | ・トップセールスによる企業立地の推進 | ・トップセールスによる企業立地の推進 | ・トップセールスによる企業立地の推進 | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | |
| | | | | | | 金額 | 3,639 | 2,660 | 3,037 | 1,037 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | (6) | 戦略的な企業誘致 | 成長分野をターゲットに戦略的な企業誘致を進めることで、新たな産業の創出・集積を目指す。 | ・企業立地支援事業費補助金の補助対象となる設備投資費の下限の大幅な引き下げを行うことで、中小企業の立地促進、成長分野への転換を支援する。(企業立地件数:累計200件(平成26年度目標)) | 工程表 | | | | | ・企業立地支援事業の拡充(H23～H26) | | | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | |
| | | | | | | 金額 | 3,639 | 2,660 | 3,037 | 1,037 | ・企業立地の推進(目標:企業立地件数累計 130件) | ・企業立地の推進(目標:企業立地件数累計 160件) | ・企業立地の推進(目標:企業立地件数累計 180件) | ・企業立地の推進(目標:企業立地件数累計 200件) | | | | | | | | | |
| 7 | | (7) | 農林水産業の6次産業化 | 農林水産業の6次産業化を進め、新たな市場・付加価値を創出する。 | ・6次産業化の推進に係る国・県事業等への事業認定を支援する。(H23～H26:16件) ・市単独事業としてアグリビジネスセミナーを開催し、事業者間のマッチングを図るなど、農工商の連携を進める。 ・地域登録商標の取得支援などにより、農林水産物のブランド力を強化する。 | 工程表 | | | | | ・国・県事業等への事業認定(4件) | ・国・県事業等への事業認定(4件) | ・国・県事業等への事業認定(4件) | ・国・県事業等への事業認定(4件) | | | | | | | 産業部 | 農林水産政策課 農林業振興課 | |
| | | | | | | 金額 | 21 | 1 | 1 | 1 | ・アグリビジネスセミナー、農商工連携フォーラムの開催(H23～H26) ・海外販路開拓支援及び地域ブランド化支援を実施(H23～H26) ・FSC材の物流・商流システムの構築の推進(H23～H26) | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | (8) | 先進的農業者の育成及び企業の農業分野への新規参入の促進 | 経営感覚に優れた先進的農業者を育成するとともに、企業等の農業分野への新規参入を推進することにより、力強い農業ビジネスを確立させる。 | ・浜松市農業振興基本計画にのっとり、経営改善指導などの施策を着実に実施し、認定農業者を育成し、1,325経営体とする(現在1,229経営体)。 ・企業の農業参入モデル地区の設定及びアクションプランの策定・実施などにより、市内外の企業等の農業参入の促進を支援し、平成25年までの3か年で企業参入件数を30件とする。 | 工程表 | | | | | ・認定農業者の育成(目標認定農業者数 1,250経営体) | ・認定農業者の育成(目標認定農業者数 1,275経営体) | ・認定農業者の育成(目標認定農業者数 1,300経営体) | ・認定農業者の育成(目標認定農業者数 1,325経営体) | | | | | | | 産業部 | 農林業振興課 | |
| | | | | | | 金額 | 4 | 4 | 4 | 4 | ・市内外の企業等の農業参入を支援(企業等の農業参入件数 5件) | ・市内外の企業等の農業参入を支援(企業等の農業参入件数 10件) | ・市内外の企業等の農業参入を支援(企業等の農業参入件数 15件 3か年計30件) | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|---------------|------|--------------------------|---|--|---------------------------|-----|--|--|------|--|--|--|------|--|-----|-----|------|-----|-------------------|--|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 地元産業の活性化を進めます | (9) | 持続可能な林業経営の実現 | 原木供給センター機能の確立及び木材加工施設整備により、安定供給体制を整備し、高性能林業機械の導入による低コスト林業を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・原木供給センター機能の確立 ・事業者による高性能林業機械の導入や作業道整備へ助成し、低コスト林業の確立を目指す。 ・事業者による木材加工・流通施設整備へ助成し、地域材の有効活用を図る。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・原木供給センター機能の確立 ・高性能林業機械の導入 ・低コスト林業推進事業 ・木材加工・流通施設整備 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・高性能林業機械の導入 ・低コスト林業推進事業 ・低コスト林業推進事業の実施継続 | | | | 産業部 | 農林水産政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 633 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 地元産業の活性化を進めます | (10) | 天竜材の需要拡大 | FSC森林認証を活用し、天竜材の利用促進を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内で地域材を一定量以上使用し建築した住宅施工者に対し、建築費の一部を助成(年間250棟、H23～H26:1,000棟)。 ・FSC認証の木製学童机・椅子を小学校にモデル導入する(年間210セット、H23～H26:840セット)。 ・公共的な場所への地域材活用を進める(4,000㎡/H23～H26)。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・天竜材の家百年住居の助成事業(助成棟数250棟) ・木製学童機のモデル導入(210セット) ・公共部門への地域材の活用 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・天竜材の家百年住居の助成事業(助成棟数各年250棟)(～H26) ・木製学童機導入の検証、年次更新(各年210セット)(～H26) ・公共部門への地域材の活用(～H26) | | | | 産業部 | 農林水産政策課 農林業振興課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 93 | | | | 93 | | | | 93 | | | | | | | | |
| 11 | 子ども第一主義を進めます | (11) | 水産資源の保護・育成及び舞阪・村瀬漁港の施設整備 | 豊富な水産資源を保護・育成し、施設整備を進め、水産産業の振興を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・漁業協同組合による種苗放流事業を支援する。 ・村瀬漁港は産地協議会を設置し、荷捌き所等の漁港の施設整備について協議し、実施するとともに、長寿化のための機能保全事業を実施する。 ・舞阪漁港は県へ岸壁改良等要望し、整備を進める。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・漁業協同組合による種苗放流事業への支援(H23～H26) ・産地協議会の立ち上げ ・村瀬漁港の機能保全計画の作成 ・舞阪漁港整備の県への要望、県による実施(H23～H26) | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・産地協議会の施設整備計画の作成 ・産地協議会の施設整備設計 ・村瀬漁港の荷捌き所等の施設整備 ・村瀬漁港の機能保全事業の実施(H24～H26) | | | | 産業部 | 農林水産政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 14 | | | | 12 | | | | 12 | | | | | | | | |
| 12 | 子ども第一主義を進めます | (1) | 保育所の充実 | 民間保育所の改築等にあわせて毎年度2施設50人以上の定員増を行い、待機児童を解消する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所の新設、認定こども園の設置を進めるとともに、既存保育所の改築に合わせた定員増を行う。(H23～H26:8施設200人以上増) | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備事業による定員増(150人) ・施設整備事業による定員増(50人) ・施設整備事業による定員増(60人) ・施設整備事業による定員増(60人) | | | | 子ども家庭部 | 保育課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 398 | | | | 120 | | | | | | 120 | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|--------|--------------|-----|--------------------------|--|--|---------------------------|------------------|-----|-----|------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|----|--------|---------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | (2) | 認証保育所利用者への助成制度の創設 | 認証保育所(浜松市が認めた認可外保育所)を利用する保護者に対し助成をすることで、利用促進と待機児童の解消を図る。 | ・認証保育所を利用する3歳未満の児童の保護者に対し、月額2万円を上限に助成する。 | 工程表 | ●————→ | | | | | | | | | | | | | | | | 子ども家庭部 | 保育課 |
| | | | | | | 金額 | 132 | 136 | 140 | 144 | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | こども第一主義を進めます | (3) | 放課後児童会の充実 | 放課後児童会を11施設増設、380人の定員増を行い、保護者会(父母会や育成会)等との連携により運営する。 | ・地域の実情を考慮し、緊急性の高い箇所を優先して整備を行うとともに、保護者や保護者会等と協力、連携し運営されるよう支援を行う。(11施設増設、380人の定員増) | 工程表 | - - - - - ● | | | | | | | | | | | | | | | | 子ども家庭部 | 次世代育成課 |
| | | | | | | 金額 | 158 | 111 | 68 | 90 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | (4) | 地域子育て支援センター及び子育て広場の再編、拡充 | 子育てしやすい環境を整備し、市民同士、地域ぐるみで子育て支援ができる環境整備を図る。 | ・保育園親子ひろば及び子育て支援ひろばを90か所に再編するとともに、発達障害等に関する専門知識のある職員配置を促し、発達障害児等の受け入れ体制の充実を図る。 | 工程表 | - - - - - ●————→ | | | | | | | | | | | | | | | | 子ども家庭部 | 保育課 子育て支援課 |
| | | | | | | 金額 | 156 | 165 | 170 | 205 | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | (5) | 「こども図書館」の設置 | 絵本や児童図書充実させ、子どもの読書環境を整備する。 | ・平成23年度は、児童図書、主に調べ学習用図書を購入する。 ・平成24年度以降は、「こども図書館」整備充実事業として、量的・質的に充実した絵本と児童書の購入を促進する。(H24~H26、児童図書6万冊購入) | 工程表 | - - - - - ● | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 中央図書館 |
| | | | | | | 金額 | 103 | 103 | 103 | 103 | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|--------------|-----|------------------------------|---|--|---------------------------|-----|----|----|------|----|----|----|------|--------|--------|----|------|----|-------|-------|-------|-----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | (6) | 愛護センターへの「いのちの教室」の拡充設置 | 動物を通して「生命の大切さ、尊さ」を伝える教育活動を実施し、「命を大切にするまちづくり」「動物を愛するまち浜松」を目指す。 | ・現在動物園において年24回開催している「地球の生命(いのち)の教室」、出前講座を、平成25年度開設予定の愛護センターにおいて拡充、実施する。 | 工程表 | | | | | | | | | 都市整備部 | 動物園 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 健康福祉部 | 生活衛生課 | |
| 18 | こども第一主義を進めます | (7) | 市民協働による「放課後の子どもたちの居場所」づくりの推進 | 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | ・安全・安心な活動場所、人材の確保等、運営方法・環境整備について検討・準備を進め、平成25年度に本格実施する。 | 工程表 | | | | | | | | | こども家庭部 | 次世代育成課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 |
| 19 | | (8) | 発達障害施設の充実 | 発達障がい児への診療体制の強化を図るとともに、発達相談支援センターの相談機能を充実させる。 | ・新たに発達障がい児を診療することができる診療所を平成23年9月から設置する。 ・発達相談支援センター(ルビロ)の相談体制強化として、平成23年度配置職員を1名増員する。 | 工程表 | | | | | | | | | こども家庭部 | 子育て支援課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 41 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | | | 90 | 90 | 90 | 健康福祉部 | 障害福祉課 | | |
| 20 | | (9) | 児童デイサービス(I型)及び発達支援広場の充実 | 地域バランスに配慮して施設配置をし、必要な早期療育を実施していく。 | ・必要な場所を検証し、平成26年度までに児童デイサービスI型を4か所整備する。 ・発達支援広場について、広場事業(センター型)に加え、親子支援事業(施設型)を実施する(3箇所)。 | 工程表 | | | | | | | | | こども家庭部 | 子育て支援課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 112 | 11 | 35 | 11 | 11 | 35 | 11 | 11 | | | 35 | 11 | 11 | 健康福祉部 | 障害福祉課 | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 部名 | 課名 |
|-------|--------------|------|-------------------------------------|---|---|-----|------------------------------|------|------|------|--------|------------------------|
| | | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | |
| 21 | | (10) | 発達障害に関する相談支援体制の充実 | 発達障がいのある子どもの乳幼児期から就学、成人期に至るまでの相談支援体制を整備し、自立した社会生活が送れるようにする。 | 平成23年度から順次子育て支援課に指導主事、幼稚園教諭、保育士、社会福祉士等を配置するとともに、全区役所にワンストップで相談できる相談窓口を設置する。 | 工程表 | | | | | こども家庭部 | 子育て支援課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | |
| 22 | こども第一主義を進めます | (11) | 市立幼稚園の通常学級における障がいのある園児への個別支援 | 園内体制のもとで発達支援教育を推進する。 | 平成23年度より可美幼稚園において、「発達支援の部屋」をモデル事業として実施、評価検証し、増設を推進する。 | 工程表 | | | | | 学校教育部 | 指導課 教職員課 |
| | | | | | | 金額 | 5 | 6 | 5 | 5 | | |
| 23 | | (12) | 幼稚園等と療育機関との併行通園における専門職員による障がい児保育の支援 | 療育機関の個別支援計画を幼稚園等と共有することで、一人ひとりの子どもに対し一貫した支援を行い、療育の効果を高める。 | 療育機関の職員が月1回程度幼稚園等へ訪問し、療育機関が作成する個別支援計画を共有することで、一貫した療育支援を行っている。 | 工程表 | | | | | 健康福祉部 | 障害福祉課 |
| | | | | | | 金額 | 23 | | | | | |
| 24 | | (13) | 小学一年・二年の30人学級編制 | 教師が児童一人一人にしっかりと向き合える教育環境を構築し、きめ細かな指導を行う。 | 小学1・2年生について、30人学級編制を実施する。なお、小学2年生については、国の35人学級編制の制度化後に実施する。 施設的な課題(教室不足)で30人学級編制が導入できない学校については、少人数指導充実のための講師を配置する。 | 工程表 | | | | | 学校教育部 | 教育総務課 学校施設課 教職員課 |
| | | | | | | 金額 | | 34 | 132 | 190 | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|--------------|------|--------------------------|--|---|---------------------------|--|--|--|------|----|-----|-----|------|-----|--|--|------|-------|------------------------------|--|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | (14) | 小中一貫教育の推進 | 「9年間の学びと育ちをつなぐ小中一貫教育」を推進する。 | 48中学校区で、小中9年間の学びと育ちをつなぐ教育を実施する。 ・「目指す子どもの姿」に向けた取組 ・小中一貫教育のカリキュラム作成、実施 ・小中一貫校の設置 | 工程表 | | | | | 金額 | 187 | 505 | 754 | | | | | 学校教育部 | 教育総務課 学校施設課 指導課 | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | こども第一主義を進めます | (15) | 理数、外国語、音楽、美術などの課外特別講座の創設 | 産学官が連携しながら、理数・外国語・音楽・美術に係る才能豊かな子どもを育てる。 | 「浜松RAIN房」では理科・ものづくりに関する教育支援事業の継続により、平成23年度に理数・ものづくりに係る才能豊かな子どもを育成するためのプログラム(ダヴィンチキッズプログラム)を先行的に確立させる。それと併行し、外国語や音楽、美術、IT分野を視野に入れたプログラムの確立に向け、関係各部(企画調整部・市民部・産業部・学校教育部)が調整を進め、才能豊かな子どもを育むための「課外特別講座プロジェクト」の創設を目指す。 | 工程表 | | | | | 金額 | 1 | 1 | 1.5 | 1.5 | | | | | 企画調整部 市民部 産業部 学校教育部 | 企画課 情報政策課 文化政策課 美術館 産業振興課 指導課 | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | | (16) | 理科教育の拡充 | 市単独事業として理科支援員を配置し、企業や大学等の協力による理科特別講師派遣や市独自の理科カリキュラムの充実を図る。 | ・市単独事業として理科支援員の配置を進める。(平成27年度までに全校配置(小学校(5・6年生)107校、中学校49校)(1学級の年間時間数 80時間)) ・「浜松RAIN房」を活用して、理科特別講師の派遣、市独自の理科カリキュラムの作成・実施・検証・拡充をする。 | 工程表 | | | | | 金額 | 16 | 16 | 16 | 16 | | | | | 学校教育部 | 指導課 | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | | (17) | 外国人児童生徒の不就学の解消 | 外国人の子どもたちの不就学を解消し、多文化共生社会の一員としてふさわしい人材の育成を図る。 | ・平成23年度から3年計画で将来にわたり不就学を生まない、全国のモデルとなる仕組みを確立する。 | 工程表 | | | | | 金額 | 49 | | | | | | | | 企画調整部 | 国際課 | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|--------|------------------|------|--------------------------|--|---|---------------------------|------------------|--|--|------|-----|--|--|------|-----|--|--|------|-----|--|--|----|-----------------|---------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 子ども第一主義を進めます | (18) | 高齢者介護施設と保育園の併設の促進 | 交流の環境整備とともに、普段から子どもと高齢者とがふれあい、交流することで、思いやりの心を育くむ。 | ・高齢者介護施設と保育所の併設施設の整備を図る。 | 工程表 | ●————→ | | | | | | | | | | | | | | | | 子ども家庭部 健康福祉部 | 保育課 高齢者福祉課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 安全と安心を人から人へつなげます | (1) | 地域支援ネットワークの構築 | ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の実態把握を行うとともに、必要な情報を関係支援機関等と共有することで、個々の実態に応じた見守り・支援活動の充実に取り組む。 | ・次期高齢者保健福祉計画(平成24年度～平成26年度)の中で、地域包括支援センターを核とした見守り・支援ネットワークづくりを進め、支援活動を実施する。 | 工程表 | - - - - - ●————→ | | | | | | | | | | | | | | | | 健康福祉部 | 高齢者福祉課 |
| | | | | | | 金額 | 25 | | | | 3 | | | | 3 | | | | 3 | | | | | |
| 31 | 安全と安心を人から人へつなげます | (2) | 地域包括支援センターの充実 | 地域包括支援センターを増設し、高齢者のための相談支援体制の拡充を図る。 | ・次期高齢者保健福祉計画(平成24年度～平成26年度)において、高齢者人口10,000人以上を担当する地域包括支援センターが設置されている区を見直し、5箇所の増設を図る。 | 工程表 | - - - - - ●————→ | | | | | | | | | | | | | | | | 健康福祉部 | 高齢者福祉課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | 18 | | | | 35 | | | | 51 | | | | | |
| 32 | 安全と安心を人から人へつなげます | (3) | 地域子育て支援センター及び子育て広場の再編、拡充 | 子育てしやすい環境を整備し、市民同士、地域ぐるみで子育て支援ができる環境整備を図る。 | ・保育園親子ひろば及び子育て支援ひろばを90か所に再編するとともに、発達障害等に関する専門知識のある職員配置を促し、発達障害児等の受け入れ体制の充実に図る。 | 工程表 | - - - - - ●————→ | | | | | | | | | | | | | | | | 子ども家庭部 | 保育課 子育て支援課 |
| | | | | | | 金額 | 156 | | | | 165 | | | | 170 | | | | 205 | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 部名 | 課名 |
|-------|-------|-----|------------------------------|--|--|-----|--|---|--|--|---------------|----------------------|
| | | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | |
| 33 | | (4) | 市民協働による「放課後の子どもたちの居場所」づくりの推進 | 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | ・安全・安心な活動場所、人材の確保等、運営方法・環境整備について検討・準備を進め、平成25年度に本格実施する。 | 工程表 |  ・運営方法等について検討し、方針を決定 |  ・運営委員会等の設置及び運営方法等について検討 ・市民へのPR、ボランティア等の募集 ・試行実施 |  ・本格実施 ・実施可能な団体の追加募集を実施 |  ・実施可能な団体の追加募集を実施 | こども家庭部 市民部 | 次世代育成課 市民協働・地域政策課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | |
| 34 | | (5) | 特別養護老人ホームの充実 | 要介護4・5の方が、速やかに特別養護老人ホームに入所できるように、毎年度200人以上の施設定員の増加を図る。 | ・平成26年度までに800人以上の施設定員の増加を図る。 | 工程表 |  ・特別養護老人ホーム増床(308床) |  ・特別養護老人ホーム増床(200床) |  ・特別養護老人ホーム増床(200床) |  ・特別養護老人ホーム増床(200床) | 健康福祉部 | 高齢者福祉課 |
| | | | | | | 金額 | 1,040 | 337 | 337 | 337 | | |
| 35 | | (6) | 老人保健施設の充実 | 在宅生活への復帰を目指す方が、速やかに介護老人保健施設に入所できるように、毎年度100人以上の施設定員の増加を図る。 | ・平成26年度までに400人以上の施設定員の増加を図る。 | 工程表 |  ・介護老人保健施設整備による増床(2施設(160床)) |  ・介護老人保健施設整備による増床(1施設(100床)) |  ・介護老人保健施設整備による増床(1施設(100床)) |  ・介護老人保健施設整備による増床(1施設(100床)) | 健康福祉部 | 介護保険課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | |
| 36 | | (7) | 障がい者のグループホーム、ケアホームの充実 | 地域バランスや通所施設への交通の利便性等を配慮した施設配置とし、12施設新設し、80人以上の定員増を図る。 | ・障がいのある方の居住の場に対するニーズの検証と地域バランス等を考慮し、平成26年度までにグループホーム、ケアホームを12箇所(80人分)整備する。 | 工程表 |  ・グループホーム、ケアホームの整備(2箇所) |  ・グループホーム、ケアホームの整備(3箇所) |  ・グループホーム、ケアホームの整備(3箇所) |  ・グループホーム、ケアホームの整備(4箇所) | 健康福祉部 | 障害福祉課 |
| | | | | | | 金額 | 46 | 82 | 82 | 82 | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|------------------|------|----------------------|--|---|---------------------------|-----|--|--|------|-----|--|--|------|-----|--|--|------|-------|------------|-----|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 41 | | (12) | 介護老人福祉施設入所者生活介護施設の充実 | 地域密着型の特別養護老人ホームへの入所を希望する方が、速やかに入所できるように、8施設の増設を図る。 | ・平成26年度までに8施設232床の整備を進める。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 健康福祉部 | 介護保険課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 266 | | | | 43 | | | | 86 | | | | | | 129 | | |
| 42 | 安全と安心を人から人へつなげます | (13) | 公共施設への市民協働コーナーの設置 | 市民活動団体の活動拠点を整備し、市民活動の活性化を図る。 | ・平成22年に一部地域で実施しているモデル事業を検証し、平成24年度に地域自治センターでの開設を進める。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 市民協働・地域政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | | (14) | 公民館の整備、機能充実 | 施設の改修等を計画的に実施することにより、市民が安全・安心・快適に利用できる公民館をめざす。 | 計画的に、公民館の施設・設備整備を進める。 ・老朽化による改修工事 ・3階以上の公民館のエレベーター設置工事 ・空調設備改修工事 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 生涯学習課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 302 | | | | 236 | | | | 716 | | | | | | 668 | | |
| 44 | | (15) | 自治会役員のための研修会の実施 | 一層の地域コミュニティの活性化による地域力の向上を図る。 | ・自治会が必要とするノウハウに関する調査検討を進め、平成23年度中に(仮称)自治会活動ハンドブックを作成するとともに、平成24年度からは自治会活動の研修会を開催する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 市民協働・地域政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|--------|-------|------|---------------------------------|--|--|--|----|----|--|------|--|-----|--|------|--|-----|--|------|--|-----|--|-------|------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | | (16) | 自治会運営の負担軽減 | 自治会への依頼業務の適正化を進めることにより、本来の地域コミュニティとしての自治会活動の活性化を図る。 | 行政連絡業務委託検討会を設置し、自治会への依頼業務に関して、庁内関係各課及び自治会双方で定期的に協議を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 市民協働・地域政策課 |
| | | | | | | 工程表 ・行政連絡業務委託検討会の設置 ・行政連絡業務委託検討会の開催(H23～H26) | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | | (17) | 地域一体となった防災体制の構築 | 防災計画の見直しを含め、防災情報の発信により、大規模災害への備えを確立し地域の連携協働による防災体制の構築を目指す。 | 地域防災計画の見直しを平成24年度中に行い、防災体制を再構築する。 ・地域防災計画の見直しを受け、新たな啓発冊子やハザードマップの作成により、防災情報を発信する。 ・津波対策として、民間等の協力を得て避難可能施設を平成23年度中に指定し、防災訓練において避難経路を確立し、地域防災体制の強化を図る。 ・災害時要援護者に対する避難支援計画の整備を行ない、自主防災隊を中心に地域での支援体制を確立する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 危機管理監 | 危機管理課 |
| | | | | | | 工程表 ・防災計画の見直しのための調査研究 ・出前講座による防災情報の発信 ・新たな避難経路・避難施設の選定、避難訓練の実施 ・災害時要援護者に対する避難支援計画の整備及び更新 | 金額 | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | | | |
| 47 | | (18) | 防災行政無線の整備及び「浜松市防災ホットメール」への登録の推進 | 情報提供の仕組みを強化し、災害時の初動対応や避難行動の迅速化、強化を図る。 | 防災行政無線の整備を進めるとともに、自主防災隊・消防団や出前講座時において、防災ホットメール登録のPRを実施する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 危機管理監 | 危機管理課 |
| | | | | | | 工程表 ・防災行政無線の整備(北区尉ヶ峰中継局の用地取得、天竜区中継局の用地測量・地質調査) ・防災ホットメールPR(自主防災隊、消防団や出前講座等)(登録目標:15,000人) | 金額 | 29 | | 271 | | 271 | | 281 | | 271 | | 281 | | 271 | | | |
| 48 | | (19) | 「浜松市業務継続計画」の策定 | 災害時の業務に利用可能な人的、物的資源を最適配分し、業務の立ち上げ時間の短縮及び業務レベルの低下を抑制する。 | 東日本大震災の検証結果をもとに、業務抽出リストや人員配置などの見直しを行い、浜松市業務継続計画を策定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 危機管理監 | 危機管理課 |
| | | | | | | 工程表 ・浜松市業務継続計画策定 ・浜松市業務継続計画の見直し(毎年度) | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|--------|-------|------|---------------------------|--|---|---------------------------|-------|----|----|------|--|--|----|------|-------|-------|-------|------|--|--|-------|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 49 | | (20) | 「まちなか防犯センター」の設置 | 地域住民による自主的な防犯活動により、有楽街を中心とする中心市街地の治安維持を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度中に有楽街に「まちなか防犯センター」を設置し、地元住民が主体となって、浜松市や警察、防犯活動団体などと連携して、夜間を重点に中心市街地の防犯活動を実施する。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 「まちなか防犯センター」の設置 「まちなか防犯センター」の維持管理 まちなか防犯協議会への支援及び関係機関等との連絡調整 まちなか防犯協議会への支援及び関係機関等との連絡調整 | | | | 市民部 | 市民生活課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 3 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| 50 | | (21) | 「地区安全会議」の設立及び青色パトロール活動の支援 | <ul style="list-style-type: none"> 「地区安全会議」の設立を支援し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員や防犯アドバイザーの派遣、活動用品等の支援、情報提供等により、「地区安全会議」の設立・活動を支援していく。(H23～H26:12団体の設置) 各警察署等と連携して、市民が行う青色パトロール活動の活発化に向けて、活動用品等の支援、関係機関との連絡調整を行う。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 「地区安全会議」設置要請・支援(毎年度3団体の設置) 「地区安全会議意見交換会」の実施、活動用品の支援(貸与) | | | | 市民部 | 市民生活課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 1 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| 51 | | (22) | 学校や病院周辺への歩道設置等推進 | 子どもや高齢者などの交通弱者が安全に安心して通行できる道路交通環境の確保を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に社会資本整備重点計画を策定し、学校周辺の通学路や病院の周辺部へ、計画的に歩道等の整備及び交差点改良を推進する。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備重点計画策定(計画期間H24～H28) 歩道等の整備及び交差点改良の推進 計画に基づく歩道等の整備及び交差点改良の推進 | | | | 土木部 | 道路課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 1,458 | | | | 1,458 | | | | | | 1,458 | | | | 1,458 | | |
| 52 | | (23) | 交通安全施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 交差点事故の防止を重点的に取り組み、事故件数の削減を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 信号、横断歩道設置等の道路規制を警察に要望する。 交差点事故削減部会において事故原因の検証を行い、対策が必要な交差点を毎年度10箇所指定し、重点的な速効対策を実施する。 | 工程表 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 前々年度指定交差点の整備効果調査・追加対策の検討と実施 前年度指定交差点の重点的な速効対策の検討と実施(年10箇所) 当年度指定交差点の翌年度以降に行う速効対策の検討と当年度に実施できる対策の実施 | | | | 都市整備部 | 交通政策課 | | | | | | | |
| | | | | | | 土木部 | 道路課 | 金額 | 25 | | | | 32 | | | | 32 | | | | 32 | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|-------|------|-------------------------------------|---|---|---------------------------|-----|--|--|------|---|--|--|------|---|--|--|------|-------|-------|-----|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 53 | | (24) | 65才以上の市民の運転免許証自主返納者への住民基本台帳カードの無料交付 | 「運転免許証自主返納制度」の啓発とともに、高齢運転者の交通事故を未然に防止する。 | ・申請時年齢が65歳以上の高齢者について、運転免許証を自主返納する際に写真付住民基本台帳カード交付申請した場合、交付手数料を免除する。 | 工程表 | | | | | ・事業実施 ・市民への周知(HP、広報はままつ)PRチラシ作成配布(5,000部) ・運転経歴証明書持参者の特典についての庁内、企業・店舗への働きかけ | | | | ・PRチラシ作成配布(3,000部) ・PRチラシ作成配布(年2,000部) | | | | 都市整備部 | 交通政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 0.1 | | | | 0.1 | | | | 0.1 | | | | | | 0.1 | | |
| 54 | | (25) | 消防車、救急車など必要な機械・装備の更新 | 各種災害に対応できるように車両及び装備・資機材等を適正に配備し、維持管理することで市民の生命・財産を守る。 | ・更新計画に基づき、消防車両や装備・資機材、防災資機材(エンジンカッター・チェーンソー)等を計画的に更新する。 | 工程表 | | | | | ・消防車両の実態検証、更新計画に基づき車両の更新(消防車2台、救急車1台) ・車両装備・資機材等の検証・購入 ・防災資機材の配備を計画 | | | | ・更新計画に基づく車両の更新(H24～H26) ・計画的な車両装備・資機材等の検証・購入(H24～H26) ・防災資機材の配備(年2台)(H24～H26) | | | | 消防局 | 警防課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 35 | | | | 65 | | | | 92 | | | | | | 92 | | |
| 55 | | (26) | 中規模消防出張所の新築 | 均衡のとれた消防署・出張所の配置を行い、効果的な消防・救急体制を実現させる。 | ・既存雄踏出張所及び可美出張所の統廃合により、大平台に出張所を新たに整備する。 | 工程表 | | | | | ・地質調査 ・実施設計・造成工事 ・建設工事・完成 | | | | ・新出張所稼働 ・可美出張所解体工事 | | | | 消防局 | 消防総務課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 1 | | | | 45 | | | | 292 | | | | | | 7 | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | | | | |
|--------|----------------------|-------------------|--|--|---|---------------------------|----|----|---|------|---|---|---|------|---|---|---|------|---|-----|-------|-------|----|-------|-----|-------|-----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 56 | 地球にやさしい持続可能な社会を実現します | (1) | 公共施設の省エネ改修及び緑化 | 省エネルギー機器等の導入によって、公共施設全体の消費エネルギーを低減させるとともに、公共施設の緑化に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー化推進事業の基本計画及び実施計画を策定するとともに、公共施設に高効率機器を導入し、有効性を確認する。 公共施設の新設にあたっては、「浜松市緑の基本計画」に定めた目標である「敷地面積の20%以上の緑化」を確保し、既存公共施設については、「浜松市緑化樹木交付制度」の活用も図りながら、段階的かつ着実に緑化を推進する。 | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 都市整備部 | 公共建築課 | | | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | ● | 都市整備部 | 緑政課 |
| | | | | | | 金額 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 57 | (2) | 民間施設の省エネ・グリーン化の推進 | 市民が気軽に取り組める緑化活動の機会を提供するとともに、民間施設の省エネ改修を支援することにより、環境に配慮した都市づくりを目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 中小企業省エネ改修費補助事業について、平成23年度は国から交付された「地域グリーンニューディール基金」による助成を実施し、平成24年度以降は市独自の新たな事業を実施する。 緑のカーテン事業については、平成23年8月に開催する「全国緑のカーテンフォーラムin浜松」を契機に、市民生活への緑のカーテンへの定着化を図るとともに、市街地における建築物の屋上・壁面緑化を推進し、環境市民の育成・支援に努める。 | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 環境部 | 環境政策課 | | | | | | |
| | | | | | 金額 | 48 | 38 | 38 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | ● | ● | 都市整備部 | 緑政課 | | |
| | | | | | 金額 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|----------------------|-----|----------------------|--|---|---------------------------|----|----|----|------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|----|-----|-------------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | | (3) | 個人住宅の省エネ化の促進 | 民生家庭部門からの二酸化炭素排出量の削減を図る。 | ・現在行っている太陽光発電設備補助に加えて、住宅の低炭素化に繋がるもの(太陽熱利用設備や低炭素化に繋がる設計手法などを取り入れた建物)への助成を検討し、平成24年度から実施する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 | 環境政策課 |
| | | | | | | 金額 | 38 | 38 | 38 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 59 | 地球にやさしい持続可能な社会を実現します | (4) | バイオマスを利用したエネルギー活用の推進 | 浜松市バイオマスタウン構想(木質バイオマス活用モデル)の推進により、二酸化炭素排出量の削減を図る。 | ・法人や、商店、モデルルーム、一般家庭等において、木質バイオマスを利用したボイラーの導入やペレットストーブの普及を進めるとともに、平成24年度よりペレット流通促進助成を実施し、木質ペレットの利用促進を図る。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 農林水産政策課 農林業振興課 |
| | | | | | | 金額 | 5 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60 | | (5) | 3Rによるごみ減量対策の実践 | 市民や事業者の協力のもと、ごみの減量化と再資源化を図り、焼却施設の統廃合や最終処分場の延命化等により建設コストを削減するとともに、二酸化炭素の排出量を削減する。 | ・平成23年度に「ごみ減量アクションプラン」を策定し、3Rによる「もえるごみ」の削減を重点に各種事業に取り組む。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 | 資源廃棄物政策課 |
| | | | | | | 金額 | 4 | 4 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | | (6) | ごみ排出量の削減 | 市民や事業者の協力のもと、市民1人1日当たりのごみ排出量の10%以上削減を目指す。 | ・「ごみ減量アクションプラン」を推進し、平成25年度に、平成21年度実績に対し、市民1人1日当たりのごみ排出量の10%以上(△115g)の削減、リサイクル率22%を目指す。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 | 資源廃棄物政策課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|----------------------|------|-------------------|--|--|---------------------------|---|--|--|------|----|--|--|------|-----|--|--|------|-----|------------------------|-----|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | | (7) | 資源リサイクルセンター開設準備 | 安定的、効率的な資源リサイクル体制を整備するための施設整備をし、リサイクル拠点の集約化を図る。 | ・既存施設の老朽化及び処理能力不足等の問題に対応するため、新たな資源リサイクルセンターの建設を進める。 | 工程表 | ● | | | | ● | | | | ● | | | | 環境部 | 廃棄物処理施設管理課 | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | 16 | | | | 512 | | | | | | 437 | | |
| 63 | 地球にやさしい持続可能な社会を実現します | (8) | ごみ処理体制整備・廃棄物の適正処理 | ごみ処理経費の削減やリサイクル率の向上を図るため、ごみ処理施設の集約化を図る。 | ・浜北清掃センターを平成24年度末、天竜ごみ処理工場を平成26年度末をもってそれぞれ休止し、旧市町村の収集区域を平成25年度において各区毎に見直すことで、効率的なごみ処理体制を確立する。ごみ処理施設においては搬入車両のごみ検査を行い、施設の適正処理に努める。また、既存施設の老朽化問題に計画的な対応をするため、新清掃工場の建設について推進する。 | 工程表 | ● | | | | ● | | | | ● | | | | 環境部 | 廃棄物処理施設管理課 資源廃棄物政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 8 | | | | 1 | | | | 10 | | | | | | 10 | | |
| 64 | | (9) | 指定ごみ袋の統一及びごみ分別の統一 | ごみの減量、リサイクルの推進、ごみ処理コストの低減、地域における市民負担の公平性を高める。 | ・家庭ごみの出し方に関して、市民の意見を広く伺う中でルールを策定するとともに、周知・浸透を進め、平成25年度より新ルールによるごみ出しを実施する。 【主な統一項目】(指定袋制度の見直し・ごみの分別品目、収集頻度・方法・区域等の見直し、連絡ごみの有料化等) | 工程表 | ● | | | | ● | | | | ● | | | | 環境部 | 資源廃棄物政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | 579 | | | | | | 579 | | |
| 65 | | (10) | 「浜松市生物多様性地域戦略」の策定 | 市域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた取組を体系的・総合的に進め、持続的発展が可能な都市を構築する。 | ・生物多様性保全のための基本方針や具体的な保全策について検討し、平成23、24年度の2か年で、「生物多様性はままつ戦略」を策定し、目指すべき将来像や重要種・重要地域の選定、目標などを定める。25年度以降は、本戦略に基づき取組を推進する。 | 工程表 | ● | | | | ● | | | | ● | | | | 環境部 | 環境政策課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 3 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|----------------------|------|---------------|--|--|---------------------------|-----|-----|-----|------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|----|-------|-----------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 66 | | (11) | 「環境教育基本方針」の策定 | 市民、市民団体、事業者などが連携と協働によって環境保全活動を継続的に進め、持続的発展が可能な都市を構築する。 | ・平成23年度中に、環境教育に取り組むための目標や方針、役割、施策等を定めた「環境教育基本方針」を策定する。24年度以降は基本方針に基づき取り組みを推進する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 | 環境政策課 |
| | | | | | | 金額 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 67 | 地球にやさしい持続可能な社会を実現します | (12) | 小中学校での環境教育の実施 | ごみの減量やリサイクルに対する理解は、児童・生徒期の通年を通じた意識付けが必要であり、小中学生への環境教育を推進し、次代を担う人づくりを進める。 | ・全小中学生全児童生徒を対象として、学校と連携して授業や講座、体験学習などの環境教育を実施し、子どもから保護者へと家庭での取組を推進する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 | 資源廃棄物政策課 |
| | | | | | | 金額 | 1 | 0.3 | 0.3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 68 | | (13) | 浜名湖の水質改善 | 猪鼻湖について、施設整備とともに、地元市民などと連携して、生活排水や産業排水他の流入による汚れを削減し、水質を改善する。 | ・川や湖を守る条例に基づき、農地の施肥対策を農家などと協議するとともに、事業場排水の指導を行う。 ・計画的に合併処理浄化槽(補助有)の設置及び、公共下水道整備を推進する。(平成26年度目標:下水道接続率73.0%) | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 | 環境保全課 |
| | | | | | | 金額 | 25 | 25 | 25 | 25 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 上下水道部 | お客さまサービス課 |
| 金額 | 80 | 70 | 50 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|------------------------|------|-----------------------------|---|---|---------------------------|----|--|--|------|----|--|--|------|-----|--|--|------|----|--|--|----|--------------|--------------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 69 | 地球にやさしい持続可能な社会を実現します | (14) | 佐鳴湖のCODの環境基準値の達成に向けた取り組みの推進 | 化学的酸素要求量(COD)の環境基準達成に向けて、生活排水や産業排水などの負荷量削減による佐鳴湖の水質浄化を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市街地や農地などの面源負荷量削減について、面源負荷量の調査及び具体的対策について検討・実施する。 ・水域浄化装置による浄化実験の効果を検証し、効果が確認できた場合は結果をもとに、浄化装置を設置する。 ・計画的に下水道整備や雨水浸透ますの設置を実施する。(平成26年度目標:下水道接続率94.9%) | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 環境部 上下水道部 | 環境保全課 お客さまサービス課 |
| | | | | | | 金額 | 61 | | | | 64 | | | | 170 | | | | 49 | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 25 | | | | 25 | | | | 25 | | | | 25 | | | | | |
| 70 | 住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めます | (1) | 南口駅前広場の改善 | 駅南地下駐車場及び送迎車スペースの機能更新により、自動車交通を整流化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度末の静岡県道路公社からの移管後の機能更新実施に向け、計画の検討・協議を進め、平成26年度に工事を実施する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 都市整備部 | 交通政策課 |
| | | | | | | 金額 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 71 | 住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めます | (2) | 北口駅前広場の改善検討 | 駅とバスターミナル、そして周辺施設、商店街へつながる「広場空間、歩行空間」の連続性を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係各機関と詳細に協議し、浜松駅周辺の交通状況や市民意見を把握した中で、都市機能の更新に係る実施案を作成する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 都市整備部 | 交通政策課 |
| | | | | | | 金額 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 部名 | 課名 |
|--------|------------------------|-----|--------------------------------|--|---|-----|------------------------------|--|---|------|-------|------------|
| | | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | |
| 72 | | (3) | 都心再整備の促進及び「まちづくりルール」の作成 | 市街地の再整備促進のために、民間主体型で自発的・戦略的なまちづくりの展開を図る。 | ・平成23年度に都市機能更新促進計画を作成するとともに、土地利用モデル地区を選定し、段階的な整備を行うことで、施設の再整備の促進を図る。 | 工程表 | | ・都市機能更新促進計画作成 ・モデル地区における説明会、権利者調整 ・他街区への再整備の誘導 | ・1街区内の段階的な整備(～H26) ・他街区への再整備の誘導(～H26) | | 都市整備部 | 市街地整備課 |
| | | | | | | 金額 | 6 | | | | | |
| 73 | 住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めます | (4) | 「浜松まちなかにぎわい協議会」との協働による中心市街地活性化 | 都心活性化に対して「浜松まちなかにぎわい協議会」への支援を行うことで、持続的な事業展開を促す。 | ・民間のエリアマネジメント組織である「浜松まちなかにぎわい協議会」の活動(まちづくりの目標設定に向けた基礎調査・エリアマネジメント戦略策定)に対し支援し、平成25年度にランドオーナーズ会議(準備会)(地権者による会合)を立ち上げる。 | 工程表 | | ・浜松まちなかにぎわい協議会への活動支援 | ・ランドオーナーズ会議(準備会)立ち上げ ・協議会の自立的な活動に対し、協議会会員として協力 | | 産業部 | 商業政策課 |
| | | | | | | 金額 | 10 | 10 | 10 | | | |
| 74 | | (5) | 「地域まちづくり基金」の創設 | 中山間地域特有の課題を解決するために、地域住民が主体的、組織的に活動する環境を整えることを目的とする。 | ・「地域まちづくり基金」を創設し、平成24年度より実施する。 | 工程表 | | ・基金の制度設計、地域住民組織の設立 ・地域まちづくり基金創設・実施 ・実施可能な地域から実施 | ・対象地域全体で運用 | | 市民部 | 市民協働・地域政策課 |
| | | | | | | 金額 | | 100 | 500 | | | |
| 75 | | (6) | 鉄道駅や病院、商業施設へのミニバスターミナルの設置 | ミニバスターミナルを整備することにより、快適な公共交通ネットワークを確保し、自家用車利用からの転換を進める。 | 浜松市総合交通計画(平成22年度策定)に基づき、公共交通のネットワーク化を図る。 ・環状路線バスの運行に合わせて起終点となる鉄道駅に待合施設を設置(1箇所)するとともに、バス停付設の待合施設を整備する(3箇所)。 ・商業施設や公共施設等にバス利用者の駐輪場または駐車場を付設もしくは共用を可能とする(8箇所)。 | 工程表 | | ・JR天竜川駅に待合施設を設置 ・北遠本線小畑地区、瀬尻地区バス停待合施設の整備 ・商業施設または公共施設に駐輪場等の付設等(各年2箇所)(H23～H26) | ・秋葉線犬居地区バス停待合施設の整備 | | 都市整備部 | 交通政策課 |
| | | | | | | 金額 | 0.7 | 2 | 1 | 0.4 | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|-------|-----|-------------------|--|--|---------------------------|--|--|---|---|--|-------|-----------|------|----|-----|-----|-------|--|--|--|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 76 | | (7) | 交通基盤施設の機能充実 | 高塚駅、天竜川駅、西鹿島駅の整備を進め、交通結節点の利便性向上、機能強化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 高塚駅については、平成24年度に工事を実施し、平成26年度末までに南北自由通路、橋上駅舎を供用開始させる。 天竜川駅については、平成26年度に本工事を実施する。 西鹿島駅については、平成25年度までに市民との協働による計画策定を目指す。 | 工程表 | | <ul style="list-style-type: none"> 高塚駅のJR東海との工事協定締結(事業着手)、詳細設計 | <ul style="list-style-type: none"> 詳細設計・工事の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 工事の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 工事の実施、平成26年度末に供用開始 | 都市整備部 | 市街地整備課 | 金額 | 11 | 164 | 686 | 1,273 | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | | <ul style="list-style-type: none"> 天竜川駅の関係機関及び橋上化推進委員会や地域住民との整備計画の合意形成に向けた調整等 | <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査 | <ul style="list-style-type: none"> JR東海及びJR貨物との覚書締結 都市計画決定及び道路認定 公社用地取得 事業化に向けた詳細設計 | <ul style="list-style-type: none"> 事業認可取得 JR東海との工事協定締結(本工事着手) 鉄道事業者における調査、JR用地取得及び工事ヤード確保 | 土木部 | 道路課 | 金額 | 5 | 5 | 5 | 5 | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | | <ul style="list-style-type: none"> 西鹿島駅についてタウンミーティング報告会の開催 交通実態調査 地元まちづくり組織の設立 | <ul style="list-style-type: none"> 地元組織によるまちづくり計画協議 関係部局、各種事業者との調整 | <ul style="list-style-type: none"> 関係部局、各種事業者との調整 地元の合意形成 地元組織によるまちづくり計画策定 | <ul style="list-style-type: none"> 詳細設計 都市計画変更手続き 事業着手 | 都市整備部 | 北部都市整備事務所 | 金額 | 2 | 1 | 1 | | | | | | |
| 77 | | (8) | 公共交通空白地域へのバス路線の充実 | 環状方向のバス路線の設定、自主運行バスの再編等、市民のニーズにあったバス路線を充実する。 | <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に環状方向のバス路線の一部について運行する。 自主運行バスについては、既に再編・運行している5地区に加え、平成23年度に2地区で地域交通検討会を立ち上げ、平成24年度に計7地区において再編運行を開始する。 | 工程表 | | <ul style="list-style-type: none"> 地域説明会開催(環状路線バス) バス再編運行(浜北地域、三ヶ日地域、熊・竜川地域、春野地域、龍山地域) 地域交通検討会開催(都田地域、引佐地域) | <ul style="list-style-type: none"> 新規路線運行(環状路線バス) バス再編運行(浜北地域、三ヶ日地域、熊・竜川地域、春野地域、龍山地域、都田地域、引佐地域) | 都市整備部 | 交通政策課 | 金額 | 39 | 68 | 93 | 93 | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | | | | | | | | |
|-------|-------|------|---------------|---|--|--------------------|---|---|---|---|-----|-----|--|------|--|--------|--|------|--|--|--|----|----|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 78 | | (9) | 三遠南信自動車道の整備促進 | 広域連携、「ひとつの浜松」の醸成にとって不可欠なインフラとして国と連携しながら整備を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 概ね10年で、三遠南信自動車道の現道活用区間の佐久間市街部から水窪市街部までの区間を整備する。 平成26年度までに3工区、1.05kmの完成供用を目指す。 | 工程表 | <ul style="list-style-type: none"> 事業箇所調査 現道活用区間の整備工事の実施(4工区実施、1工区完成供用(0.2km、改良率:56.6%)) | <ul style="list-style-type: none"> 現道活用区間の整備工事の実施(3工区継続実施) | <ul style="list-style-type: none"> 現道活用区間の整備工事の実施(新規1工区着手、1工区完成供用(0.2km、改良率:57.3%)) | <ul style="list-style-type: none"> 現道活用区間の整備工事の実施(3工区継続実施、1工区完成供用(0.65km、改良率:59.5%)) | 土木部 | 道路課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 355 | 812 | 722 | 853 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 79 | | (10) | 放射道路及び環状道路の整備 | 各拠点の有機的な連絡及び機能分担を支援し、かつ災害に強い骨格構造の圏域を構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> 概ね10年で以下の路線を整備する。 都心環状線 市街地環状線 浜松環状線 大外環状線(国道362号) 放射5,7,10号 南北軸(国道152号) 連立(遠鉄高架化) <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度までに4.6kmの完成供用を目指す。 | 工程表 | <ul style="list-style-type: none"> 都心環状線、市街地環状線、浜松環状線、大外環状線(国道362号)、放射5,7,10号、南北軸(国道152号)(H23~H26) 連立(遠鉄高架化)(H23~H25) | <ul style="list-style-type: none"> 都心環状線の一部完成供用(0.3km) | <ul style="list-style-type: none"> 浜松環状線の一部完成供用(0.3km) 連立(遠州鉄道線)の完成(3.3km)(整備率:83.1%) | <ul style="list-style-type: none"> 市街地環状線の一部完成供用(0.7km、整備率:83.6%) | 土木部 | 道路課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 4,386 | 3,823 | 3,649 | 3,301 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | | | | |
|-------|------------------------|------------------|---|---|--|---------------------------|-------|-------|-------|-------|---|---|---|------|---|---|---|------|---|---|---|-----|-----|---|---|-----|--------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80 | 住みやすさナンバーワンのまちづくりを進めます | (11) | 社会基盤構造物の長寿命化対策及び耐震化工事 | 橋梁・舗装、及び上下水道設備の長寿命化、防災・減災対策を推進する。 | <p><橋梁・舗装></p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の長寿命化修繕計画の策定については、323橋の計画を平成23年度に完了し、舗装については、平成26年度中に計画を策定する。 橋梁の耐震補強については、18橋の工事に着手する(H22:5橋着手済み)。 <p><水道施設></p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線管路のうち優先度・緊急性の高い基幹管路約240km(導水・送水・配水本管)の耐震適合率100%について15年以内の達成を目指し、整備を進める。 大原第5配水池を新設し、震災時の給水拠点の確保・拡大を図る。 <p><下水道施設></p> <ul style="list-style-type: none"> 防災拠点、重要路線が集中する中部処理区及び処理場の地震対策事業の推進及び、予防保全型の改築更新事業及び維持管理を実施する。 | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 土木部 | 道路課 | | | | |
| | | | | | | 金額 | 642 | 638 | 638 | 638 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 土木部 | 水道工事課 |
| | | | | | | 金額 | 1,512 | 2,588 | 2,934 | 2,372 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 土木部 | 下水道工事課 |
| | | | | | | 金額 | 1,100 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 81 | (12) | 公共交通空白地域の移動手段の充実 | <ul style="list-style-type: none"> デマンドバス等の効率的な運行により、市民の日常生活に必要な移動手段を持続的に確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> デマンドバスについては、平成23年度に渋川地域で地域交通検討会を開催し、地域にあった持続可能な交通システムを協議、検討し、平成24年度に既存の地区(3地区)と合わせ、4地区で運行を開始する。 NPO等の運送事業については、補助金交付制度の見直しを行うとともに、立ち上げを支援し、平成25年度に1地区で運行を開始する。 | 工程表 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| | | | | | 金額 | 19 | 27 | 35 | 34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 金額 | 19 | 27 | 35 | 34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|----------------------|-----|------------------------------|---|--|---------------------------|-----|--|--|------|-------|--|--|------|-------|--|--|------|-------|---------|-----|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 86 | | (5) | リハビリ病院の再整備 | 病院施設の建替えにより、病院利用者の安全性や利便性の確保、療養環境の改善を図る。 | ・平成22年度に策定した浜松市リハビリテーション病院整備のための基本構想及び基本計画をもとに再整備を進める。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 健康福祉部 | 病院管理課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 239 | | | | 2,030 | | | | 3,269 | | | | | | 201 | | |
| 87 | いきがいが実感できる健康づくりを進めます | (6) | 救急救命士の資格者増 | 有資格者を計画的に増員し、病院前救護体制の充実強化を図る。 | ・毎年度8人の救急救命士有資格者を増やす。(H23～H26:32人) | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 消防局 | 警防課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 7 | | | | 7 | | | | 7 | | | | | | 3 | | |
| 88 | | (7) | ラジオ体操の普及 | スポーツ振興基本計画の「1・1・1(イチイチイチ)運動」を推進するとともに、すべての市民の健康の保持、増進を図る。 | ・平成23年度は、「第50回 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を誘致し、また講習会を拡充するなど、ラジオ体操の普及を推進する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 市民部 | スポーツ振興課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 1 | | | | 0.3 | | | | 0.3 | | | | | | 0.3 | | |
| 89 | | (8) | 健康づくりや生活習慣病対策のプログラムの作成及び事業展開 | 生涯を通じた健康増進のために、官民協同で事業展開し、健康づくりに取り組む市民を増やす。 | ・はままつ健康プロジェクトとして、中高年男性向け生活習慣病予防の健康づくりプログラムリストを作成・実施する。 ・平成24年度に、市民が健康づくりに取り組む指針となる「健康はままつ21」の次期計画を策定するとともに、健康はままつ推進協力団体を150団体に増やす(現状123団体)。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | 健康福祉部 | 健康増進課 | | | |
| | | | | | | 金額 | 5 | | | | 6 | | | | 10 | | | | | | 4 | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|--------------------------|------|-----------------|---|--|---------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|-------|-------|-------|-------|--|----|----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90 | いきがいが実感できる健康づくりを進めます | (9) | 乳幼児期からの食育の推進 | 「こころと身体の健康づくり」、「地産地消」、「食の安全」の視点から食育を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市食育推進計画に基づき、こころと身体の健康づくりの普及啓発を実施するとともに、地場産物を積極的に学校給食献立に取り入れ、浜松市食育推進計画における目標値の達成を目指す。 ・平成24年度に、第2次浜松市食育推進計画策定する。 | 工程表 | | | | | | | | | 健康福祉部 | 健康増進課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 5 | 8 | 5 | 5 | 5 | 8 | 5 | 5 | | | 5 | 8 | 5 | 5 | | | |
| 91 | いきがいが実感できる健康づくりを進めます | (10) | 健康診断の受診率の向上 | がん検診及び特定健診を受診することにより病気の早期発見をし健康寿命の延伸を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・周知啓発とともに、がん検診・特定健診との同時受診券発行を行う。 ・平成26年度の受診率を、肺がん検診31.5%、特定健診27.0%を目指す。(現状(平成21年度):肺がん検診28.7%、特定健診24.6%) | 工程表 | | | | | | | | | 健康福祉部 | 健康増進課 国保年金課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 1,472 | 1,605 | 1,666 | 1,728 | 1,472 | 1,605 | 1,666 | 1,728 | | | 1,472 | 1,605 | 1,666 | 1,728 | | | |
| 92 | いきがいが実感できる健康づくりを進めます | (11) | スポーツ施設利用環境の整備 | 県営球技場の誘致を進めるとともに、政令市にふさわしい競技場を整備し、また市民が利用しやすいスポーツ施設の利用環境を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・県営球技場などのスポーツ施設の設置を主体とした県営公園の整備を県へ要望していくとともに、その進捗に合わせ、四ツ池公園の再整備計画を検討する。 ・身近なスポーツ施設について、施設の老朽化や地域バランス等を考慮し、再配置計画の個別計画を作成するとともに、施設の運営管理についても、指定管理者制度の導入や地域住民による運営等により、効率的、効果的な施設環境の整備を平成26年度までに進める。 | 工程表 | | | | | | | | | 市民部 | スポーツ振興課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 93 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (1) | 「多文化共生推進協議会」の設立 | 「オール浜松」体制により「多文化共生推進協議会」を設立し、多文化共生社会の実現に向けて取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度中に、市・国・県の関係団体、HICE、外国人コミュニティ、経済界、自治会などによる「多文化共生推進協議会」を設立する。 | 工程表 | | | | | | | | | 企画調整部 | 国際課 | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 2 | 2 | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|--------------------------|-----|--------------------------------|---|---|---------------------------|---|----|----|------|----|----|----|------|----|----|----|------|----|----|----|----|--------------|----------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 94 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (2) | 多文化共生センターの活動の活発化 | 日本人市民と外国人市民同士が互いを認め合い、共にまちづくりを進める多文化共生社会の実現を目指す。 | ・多文化共生センター事業を充実するとともに、平成24年度設立予定の多文化共生推進協議会を活用して、外国人市民及び日本人市民がより利用しやすい施設運営や事業展開を推進する。 | 工程表 | <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生コーディネーターの養成 ・多文化共生推進協議会等を活用し、積極的な事業展開を図る(H24～H26) ・多文化共生コーディネーターの活用による自治会等を中心とした多文化共生事業の促進(H24～H26) ・防災対策の強化・外国人による防災組織の立ち上げ及び正しい情報の伝達(H23～H26) ・多文化共生センターの開館日を、年中無休(休日及び年末年始を除く)とする(H23～H26) ・メンタルヘルス相談員を2名に増員(H23～H26) | | | | | | | | | | | | | | | | 企画調整部 | 国際課 |
| | | | | | | 金額 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | 53 | |
| 95 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (3) | 官民連携による浜名湖観光圏を中心とした観光地のネットワーク化 | 環浜名湖及びその周辺地域の相互連携によって観光圏を形成し、国内外からの観光旅客の来訪及び滞在を増加させる。 | ・地域資源を活用した着地型旅行商品の企画・販売等を行う「観光地域づくりプラットフォーム」を設立し、誘客に努める。 ・環浜名湖及びその周辺地域の相互連携によって観光圏を形成し、観光旅客の来訪及び滞在を促進するための事業を推進する。 | 工程表 | <ul style="list-style-type: none"> ・「観光地域づくりプラットフォーム」の設立 ・産業観光施設を紹介するモニターツアーの開催 ・浜松の地域資源を活かしたモニターツアーを開催する人材を育成 ・「観光地域づくりプラットフォーム」の事業に対する支援(H24～H26) ・パンフレットやHPを活用し産業観光の魅力の啓発(H24～H26) ・浜松の地域資源を活かしたモニターツアーの開催(H24～H26) | | | | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 観光交流課 |
| | | | | | | 金額 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | |
| 96 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (4) | 観光交流人口の拡大 | アジアなど海外からの誘客及び、コンベンションへの参加による交流客数の増加を図る。 | ・事業効果の向上を図るため、官民連携による「インバウンド推進協議会」を平成23年度に設置し、海外向け観光施策を推進するなどにより、外国人の誘客を図る。 ・コンベンション誘致事業(広報活動、コンベンションに関する事業への支援)を実施する。 | 工程表 | <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による「インバウンド推進協議会」の設置 ・協議会による東アジア、東南アジア地区に重点を置いたセールス事業(H23～H26) ・協議会による受入態勢の整備、向上(H23～H26) ・コンベンションビューローによるコンベンション主催者等へのセールス、支援(H23～H26) | | | | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 観光交流課 |
| | | | | | | 金額 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 | |
| 97 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (5) | フラワーパークの観光施設としての再構築及び経営の健全化 | 独自の魅力創出を図るとともに、経営の安定化と自立した運営を目指す。 | ・花を楽しむ観光施設として、花壇・植栽の充実を図る。 ・動物園との一体的利用について所管の一元化により推進するとともに、指定管理者制度等を平成26年度に導入し、経営の健全化を目指す。 | 工程表 | <ul style="list-style-type: none"> ・花壇植栽などの充実(H23～H26) ・動物園との施設の一体的利用について検討 ・園内移動列車の修繕等投資効果調査の実施 ・施設の一体的利用について検討 ・フラワー・フルーツパーク公社の、公益財団法人化に向けた申請 ・フラワー・フルーツパーク公社の公益財団法人化 ・指定管理制度導入に向けて制度等の整備 ・指定管理者制度による施設運営 | | | | | | | | | | | | | | | | 都市整備部 産業部 | 緑政課 農林水産政策課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | | | | | |
|--------|--------------------------|-----|--|---|--|---------------------------|-----|--|--|------|-----------------------|--|--|------|--|--|--|------|--------------------------------|---------|----|----|----------------------|-------|--|--|-----|-------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 98 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (6) | フルーツパークの新法人の設立による独立経営 | 新法人を設立し、浜松の「食」と「農」の発信基地、食育の実践と農業の6次産業化の推進拠点として事業に取り組み、独立した経営を目指す。 | ・新法人による経営の事業計画を策定し、同時に指定管理制度を導入し、施設運営費の削減を図る。 | 工程表 | | | | | ・新法人の設立及び事業計画の策定 | | | | ・新法人による指定管理を導入し、果物を中心とした地域の農林水産物の加工体験や情報発信の拠点としてリニューアル | | | | 産業部 | 農林水産政策課 | | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 106 | | | | 90 | | | | 90 | | | | | | 90 | | | | | | | |
| 99 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (7) | 新ユニバーサルデザイン計画の策定・実施 | 市民や事業者と協働で取り組む新たなユニバーサルデザイン計画を策定し、実行・実践する。 | ・平成23年度に第2次ユニバーサルデザイン計画を策定し、平成24年度から10か年にわたるユニバーサルデザインの定着・実践に向けた事業を展開する。 | 工程表 | | | | | ・第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画策定 | | | | 第2次浜松市ユニバーサルデザイン計画に基づく事業の推進 | | | | 市民部 | ユニ・男女課 | | | | | | | | |
| | | | | | | 金額 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (8) | 音楽イベントの実施、市民主体によるイベントの支援 | 貴重な文化資源である音楽文化活動をさらに活発にすることでまち全体の活性化につながる「音楽の都」を推進する。 | ・「浜松国際ピアノコンクール」、「浜松吹奏楽大会」を実施する。 ・市民音楽文化を振興する事業を、企業や文化団体と共催して実施するとともに、浜松市文化振興財団の中間支援機能の強化により、市民主体の音楽イベントを支援する。 | 工程表 | | | | | ・第8回浜松国際ピアノコンクール開催準備 | | | | ・第8回浜松国際ピアノコンクール事業開催 | | | | ・第8回浜松国際ピアノコンクール優勝者ツアー、第9回開催準備 | | | | ・第9回浜松国際ピアノコンクール開催準備 | | | | 市民部 | 文化政策課 |
| | | | | | | 金額 | 58 | | | | 178 | | | | 63 | | | | 58 | | | | | | | | | |
| 101 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくります | (9) | 子どもが文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努める。 | 子どもたちが文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努める。 | ・本物の舞台芸術の制作を多くの子ども達に体験させ、芸術文化への理解を深めるための事業を実施していく。 ・平成24年度に子どもミュージカルを開催する。 | 工程表 | | | | | ・子ども音楽鑑賞教室(H23～H26) | | | | ・青少年音楽団体育成事業(H23～H26) | | | | ・アクトシティ音楽院事業(H23～H26) | | | | 市民部 | 文化政策課 | | | | |
| | | | | | | 金額 | 120 | | | | 136 | | | | 118 | | | | 118 | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|---------------------------|------|-----------------------------------|--|--|---------------------------|----|--|--|------|-----|--|--|------|-----|--|--|------|-----|--|--|----|-----|-------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 102 | 文化や自然を生きかし、活力あふれるまちをつくります | (10) | 音楽教育の環境整備 | 子どもたちが部活動で使用する吹奏楽楽器を充実し、音楽教育の環境整備を進める。 | ・小中学校での音楽活動を活発化し、音楽文化人材を育成するため、平成26年度までに、大型楽器や特殊楽器を中心に約90台の楽器を追加購入し(平成22年度末100台保有)、希望する小中学校へ貸し出しを行い、音楽教育の環境整備を進める。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 文化政策課 |
| | | | | | | 金額 | 5 | | | | 5 | | | | 5 | | | | 5 | | | | | |
| 103 | 文化や自然を生きかし、活力あふれるまちをつくります | (11) | 「ユネスコ創造都市ネットワーク」加盟による「音楽の都」づくりの推進 | 音楽文化の国内外への発信と交流を促進するため、「ユネスコ創造都市ネットワーク」に加盟し、「音楽の都」づくりを進める。 | ・平成23年度中に加盟を果たし、フォーラムを開催する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 文化政策課 |
| | | | | | | 金額 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 104 | 文化や自然を生きかし、活力あふれるまちをつくります | (12) | 文化芸術活動拠点施設としての鴨江別館の改修整備 | 鴨江別館をアーティストの活動拠点機能や、人と情報の交流の場としてのアートセンター機能、市民ギャラリー機能を有する施設として改修整備していく。 | ・鴨江別館の利活用について検討会を開催し、ギャラリー機能等の施設整備を進め、平成25年度にアートセンターとして本格稼動する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 文化政策課 |
| | | | | | | 金額 | 10 | | | | 10 | | | | 10 | | | | 10 | | | | | |
| 105 | 文化や自然を生きかし、活力あふれるまちをつくります | (13) | 市民協働による伝統文化の保護・保存活動の推進 | 市民全体で民俗芸能の保存・継承活動に取組む。 | ・平成23年度に市制100周年記念事業として、「浜松市伝統芸能の集い」を開催するとともに、市内の伝承団体の連絡会を立ち上げ・支援を図り、平成26年度に三遠南信地域も含んだ民俗芸能フェスティバルを開催する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 市民部 | 文化財課 |
| | | | | | | 金額 | 13 | | | | 0.7 | | | | 0.7 | | | | 0.7 | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|-------|----------------------------|------|-------------------------|---|--|---|----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-------|--------------|------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 106 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくりまします | (14) | 浜松城公園内の城郭施設の復原 | 浜松城公園歴史ゾーンの復原、歴史の発掘を通して、市民が誇ることのできる新たな文化・観光資源を創出する。 | 浜松城公園歴史ゾーンの復原整備を10ヵ年計画で行う。 ・「天守門」について、平成25年度までに整備する。 ・「南エントランスゾーン」について、平成24～27年度の計画で整備する。 ・「富士見櫓」について、平成28～32年度の計画で復原整備を行う。 | 工程表 | 金額 | 12 | 105 | 105 | 10 | 10 | 105 | 105 | 10 | 10 | 105 | 105 | 10 | 10 | 都市整備部 | 公園課 | |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・天守門実施設計等 ・天守門復原整備(周辺整備含む) ・南エントランスゾーン都市計画変更 ・天守門復原整備(周辺整備含む) ・南エントランスゾーン旧下水道庁舎撤去後発掘調査 ・南エントランスゾーン整備実施設計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 107 | 文化や自然を生かし、活力あふれるまちをつくりまします | (15) | 新美術館及び文化センターの建設準備 | 浜松城公園内の文化施設整備として、創造的な新しいアート活動の拠点施設としての新美術館や多様な文化芸術活動を振興していくための文化センターの建設準備をする。 | ・浜松城公園の配置計画の中で、新美術館の建設場所を決定し、基本計画を策定するなど、建設準備を行う。 ・文化センターについても新美術館と総合的に建設準備を進めていく。 | 工程表 | 金額 | 0.5 | 9 | 9 | 90 | 90 | 9 | 9 | 90 | 90 | 9 | 9 | 90 | 90 | 市民部 | 美術館 生涯学習課 | |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所の決定、建設計画策定のための準備 ・(仮称)建設構想策定委員会を設置基本計画策定(事業方針、概算事業費、運営方法等)、設計手法調査、附属調査等設計業者決定 ・基本設計、地質調査 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 108 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (1) | 市民への積極的な情報提供や市政参画の機会の充実 | 市民協働を推進するための前提となる情報の公開、市民への市政参画機会を充実するため、職員の意識改革を図る。 | ・職員が市民協働について理解を深めることが、市民への積極的な情報提供や市政参画機会の充実にとって重要なことから、職員が業務で活用できる市民協働の参考書を作成するとともに、市民協働についての研修会を開催する。 | 工程表 | 金額 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 市民部 | 市民協働・地域政策課 | |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働研修会の開催(年5回) ・市内メールニュースの配信(年6回) ・職員向け市民協働の参考書作成 ・市民協働研修会の開催(年5回)(～H26) ・市内メールニュースの配信(年6回)(～H26) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 109 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (2) | 市民活動団体の活動拠点の整備 | 市民活動団体の活動拠点を整備し、市民活動の活性化を図る。 | ・市民協働センターの機能を充実するとともに、既存の公共施設の空きスペースを活用し、市民協働コーナーの設置を進める。(平成24年度までに7箇所設置) | 工程表 | 金額 | 36 | 36 | 43 | 43 | 36 | 36 | 43 | 43 | 36 | 36 | 43 | 43 | 36 | 36 | 市民部 | 市民協働・地域政策課 |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働センターの維持管理 ・市民協働コーナーモデル事業(引佐・三ヶ日)の検証 ・市民協働センターの機能充実 ・各地域自治センター内に市民協働コーナーを新規に設置(5箇所) ・公民館内の設置について検討 ・市民協働センターの機能充実 ・市民協働コーナー(7箇所)の維持管理 ・公民館の内、可能な施設から設置 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 部名 | 課名 | |
|-------|---------------------|------------------------|---|---|--|---|---------------------------|------|------|------|-------|------------|-----------------|
| | | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | |
| 110 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (3) | 対等なパートナーシップのもとでの地域社会の課題解決 | 多様な主体が協力、連携できる機会をつくり、対等なパートナーシップのもとで、地域の社会的課題の解決を図る。 | ・市民協働センターと連携してプレゼンテーションフォーラムを開催し、多様な主体が連携するきっかけを創るとともに、継続的に相談、連携の場の提供、情報発信等の支援を行い、社会的課題の解決を図る。 | 工程表 | | | | | 市民部 | 市民協働・地域政策課 | |
| | | | | | | 金額 | 3 | | | | | | |
| 111 | | (4) | さらなる行財政改革 | 第三者機関による提言・監視体制を構築し、市全体で行財政改革を推進していく。 | ・平成23年10月の第3次浜松市行財政改革推進審議会の任期満了後も、引き続き行財政改革推進審議会を設置し、行財政改革を推進する。 | ・「行革審だより」の発行・行革審ホームページの運営による情報公開(H23～H26) | 工程表 | | | | | 企画調整部 | 行政経営課 行革審事務局 |
| | | | | | | | 金額 | 6 | 6 | 6 | 6 | | |
| 112 | (5) | 市の政策や事業に対する市民目線での評価の実施 | 市の全ての事務事業を見直し、行政サービスの質の向上を図るとともに、事業の目的、内容、コスト、成果、評価を開示し、市政の透明性の向上を図る。 | ・毎年度、全ての事務事業(約1,000事業)をゼロベースで評価するとともに、評価結果と改善状況を公表し、市政の透明性を向上させる。 ・市民目線による外部評価を実施し、評価の信頼性を高める。 | ・全事業の評価の実施(H23～H26) ・評価結果と改善状況の公表(H23～H26) ・市民目線による外部評価の実施(H23～H26) | 工程表 | | | | | 企画調整部 | 行政経営課 | |
| | | | | | | 金額 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 113 | (6) | 総市債残高の削減 | 健全な財政運営により、将来においても安定した財政を堅持する。 | ・平成26年度末までに総市債残高(一般会計、特別会計、企業会計)を5,000億円未満とする。 | ・総市債残高目標値: 5,161億円 ・総市債残高目標値: 5,113億円 ・総市債残高目標値: 5,035億円 ・総市債残高目標値: 4,957億円 | 工程表 | | | | | 財務部 | 財政課 | |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|---------------------|------|-------------------------|---|---|---------------------------|------|--|--|------|------|--|--|------|------|--|--|------|------|--|--|----|-----|------------------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 114 | | (7) | 遊休資産の売却・交換・貸付及び借地の解消の推進 | 遊休化した財産は処分を原則とし、処分できるまでの間は一時的な貸付を行うなど積極的な資産活用を行い、借地解消に向けた財源確保を行う。 | ・平成23年度に、財産処分の促進および借地の適正化に向けての計画を策定・実施する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 財務部 | 資産経営課 |
| | | | | | | 金額 | ▲593 | | | | ▲600 | | | | ▲600 | | | | ▲600 | | | | | |
| 115 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (8) | 既存施設の再編・リニューアルによるコスト削減 | 施設の見直しや集約化による保有施設の縮減と地域に見合った施設配置をし、健全な財政運営への貢献と幅広い市民サービスへの還元を行う。 | ・資産経営推進方針のもと施設評価を実施し、評価に基づき施設配置を見直すことで、平成26年度までに、対象とする既存施設を20%削減する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 財務部 | 資産経営課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 116 | | (9) | 滞納整理の徹底 | 目標設定と達成率の進捗管理を徹底することにより、収納率向上と滞納繰越額削減を実現する。 | ・平成26年度、現年分収納率98.5%を目指した対策及び、平成26年度、累積滞納額67億円を目指した対策を、計画的に実施する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 財務部 | 納税推進課 債権回収対策課 |
| | | | | | | 金額 | 211 | | | | 212 | | | | 212 | | | | 212 | | | | | |
| 117 | | (10) | 職員数の削減 | 組織の見直しや事務事業の合理化、アウトソーシング等の活用などにより、300人を超える職員数を削減する。 | ・平成22年度の取り組み(76人削減)と合わせ、職員数については、全部局で314人、市民の安全・安心にかかわる消防局を除き402人の削減を図るとともに、政策・事業評価の活用や組織の見直しなどにより目標を上回る削減を目指す。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務部 | 人事課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 部名 | 課名 |
|-------|---------------------|------|-----------------------|---|---|-----|------------------------------|------|------|------|--------------|-------------------|
| | | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | |
| 118 | | (11) | 時間外勤務の縮減 | 時間外勤務の縮減は、職員の心身の健康保持、仕事と生活の調和、公務能率の向上、行政コストといった観点からも重要な課題であることから、その縮減に取り組む。 | 以下の取り組みで時間外勤務について、平成22年度実績の20%縮減を図る。 ・職員のコスト意識の徹底 ・時間外勤務縮減の重点的な取り組みの作成・進行管理 ・勤務時間の弾力的割振りの実施 ・週休日等の振替の徹底 | 工程表 | | | | | 総務部 | 人事課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | |
| 119 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (12) | 総合計画推進におけるPDCAサイクルの確立 | PDCAサイクルにおける意思決定の仕組みや資源配分の仕組みを確立する。 | ・総合計画の進行管理は、実施計画となる戦略計画を、毎年度策定・評価していくことで進める。 ・部局長や区長の権限と責任のもと、戦略計画を核とした資源配分の仕組みや計画策定から評価・見直しまでの経営の流れを推進する。 | 工程表 | | | | | 企画調整部 | 企画課 行政経営課 |
| | | | | | | 金額 | 12 | 12 | 12 | 12 | | |
| 120 | | (13) | 政策形成過程の公表 | 総合計画の推進において、市民参画と分かりやすい市政情報の提供に取り組む。 | ・戦略計画、政策・事業シートやスプリングレビュー、サマーレビュー資料等の公表により、市民に対し分かりやすい情報提供を行い、政策形成に係る市民参画を促進する。 | 工程表 | | | | | 企画調整部 | 企画課 行政経営課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | |
| 121 | | (14) | 区の再編の検討、住民投票条例の制定 | 行政区再編の是非の判断に住民投票の結果を反映させる。 | ・行政区再編については、利点、不利点、先進事例を整理し、住民投票の制度設計、有効性について検討する。 | 工程表 | | | | | 市民部 企画調整部 | 市民協働・地域政策課 企画課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 | |
|-------|---------------------|--------------------------|--|--|---------------------------------|---------------------------|---|---|---|------|--|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|-------|-------|-----|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 122 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (15) | 簡素で機能的な市役所の組織体制の構築 | 市民にわかりやすく、利用しやすい、簡素で機能的な市役所の組織体制を構築する。 | ・課の統合、職の再編及び各課の事務分掌の見直しを行う。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務部 | 人事課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 123 | | (16) | 部の削減 | 縦割り行政を解消し、総合的な政策運営ができるよう部を再編する。 | ・現在15ある本庁の部(1事業本部を含む。)を10に再編する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 総務部 | 人事課 |
| | | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 124 | (17) | 電子自治体の取り組みやICTの活用についての研究 | 情報システム全体の見直しを進め、市役所全体の業務改善を図る。 | ・既存パッケージソフトの評価や導入に当たっての課題、調達方法などの検討を進め、情報システム最適化に関する実施計画を作成する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 企画調整部 | 情報政策課 | |
| | | | | | 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 125 | (18) | 三遠南信地域基本計画に基づく新産業の創出 | 三遠南信地域基本計画などに基づき、新産業の創出を図り、10年後の基幹産業化を目指す。 | ・広域連携によるプロジェクトの一層の充実を図るとともに、成長が望める産業分野である次世代輸送用機器、健康医療、新農業、光エネルギーについて、三遠南信地域の産学官連携により、事業を展開する。 | 工程表 | | | | | | | | | | | | | | | | | 産業部 | 産業振興課 | |
| | | | | | 金額 | 6 | 6 | 6 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | |

マニフェスト工程表

| 一連 No. | 8つの戦略 | 小項目 | 項目 | 目的 | 実施内容 | 23年度 | | | | 24年度 | | | | 25年度 | | | | 26年度 | | | | 部名 | 課名 |
|--------|---------------------|------|-------------------|---|---|---|---|---|---|-------|-----|--|--|------|--|--|--|------|--|--|--|-------|-------|
| | | | | | | 下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 126 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (19) | 三遠南信地域における防災・医療連携 | 三遠南信地域で災害時における相互応援や浜松市消防ヘリコプターの遠距離救急搬送時の広域運用など、防災・医療連携を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> 三遠南信災害時相互応援協定や航空消防応援協定を踏まえ、東海地震等の大規模災害を想定した連携のあり方を検討するとともに、広域での消防本部との合同訓練等を実施する。 三遠南信自動車道における消防相互応援協定の締結に向けて調査・研究を進める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 消防局 | 消防総務課 |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 東海大地震等の大規模災害を想定した連携のあり方の検討 広域での消防本部の合同訓練等の実施 三遠南信自動車の一部供用開始に向け、消防相互応援の調査・研究 | <ul style="list-style-type: none"> 広域での消防本部の合同訓練等の実施 三遠南信道路の開通に向け、消防相互応援協定の締結 | <ul style="list-style-type: none"> 広域での消防本部の合同訓練等の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 広域での消防本部の合同訓練等の実施 | 企画調整部 | 企画課 | | | | | | | | | | | | |
| 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 127 | 行革を進め、自立した市政運営を行います | (20) | 西遠地域8市1町の首長会談の主催 | 西遠地域8市1町の首長会談を主催し、広域連携で地域の課題解決に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 遠州地域8市1町の首長による「遠州広域行政推進会議」を開催し、防災、観光など遠州地域の広域的行政課題について解決に取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 企画調整部 | 企画課 |
| | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 遠州広域行政推進会議の設置 遠州広域行政推進会議を年3回程度開催し、広域連携による地域の課題解決に取り組む | <ul style="list-style-type: none"> 遠州広域行政推進会議を年3回程度開催し、広域連携による地域の課題解決に取り組む | | | 企画調整部 | 企画課 | | | | | | | | | | | | |
| 金額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

浜松市役所 企画調整部 企画課

TEL 053-457-2241 FAX 053-457-2248

Eメール : kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>